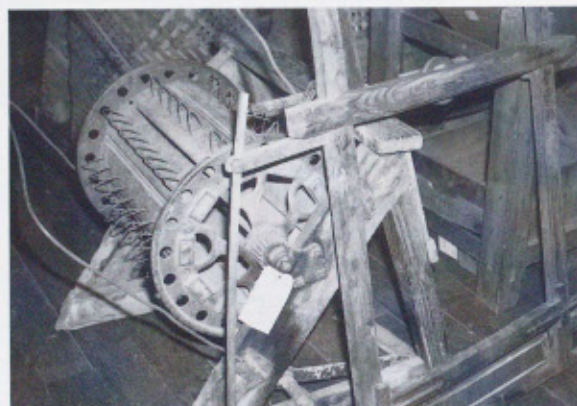




はんしょう



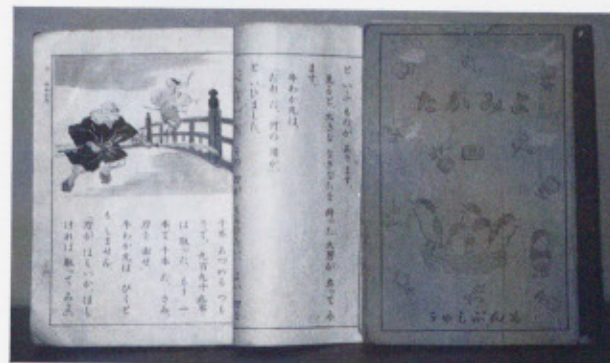
むかしの田畑のしごとの道具

- きょう土資料しつへ行って、むかしの道具をしらべてみましょう。

※ はんしょう  
チャイムのかわりに  
かねをならして、合図  
をしました。

きょう土資料しつをたずねて わたしたちは、これまで、古い道具をもちよってむかしのことをべんきょうしてきました。こんどは、学校のきょう土資料しつへ行って、むかしのことをしらべましょう。きょう土資料しつには、きるものや食きなど、生活につかったものや、田畑のしごとにつかったものなど、いろいろな古い道具がおいてあります。

ほかには、古い教科書やぎっしなど、むかしの本もならべてあります。むかしの教科書には、「のうぎょう」「つづりかた」などもあり、今とはちがうこともべんきょうしていたことが分か



むかしの教科書



電とうカバー

ります。また、ひらがなのかわりにカタカナがつかわれたり、よこ書きは右から左へ書かれるなど、書かれかたも今とはずいぶんちがいます。

きょう土資料館には、せんそうのコーナーもあります。

電とうカバーは、せんそうで各務原が空襲くうしゅうされていたころ、ひこうきから分からないように、電とうにカバーをかぶせ、光が外へもれないようにしたものです。

※ 空襲

せんそうで、ひこうきからばくだんをおとすこと。

- おじいさんやおばあさんに、きょう土資料しつで見た道具のつかいかたなどをきいてみましょう。





むかしの家

- むかしの家は、自分の家とどこがちがうでしょう。それは、なぜでしょう。

※ わら

小むぎのくきをつかうところが多かったが、かやをつかうところもあった。



※ なや

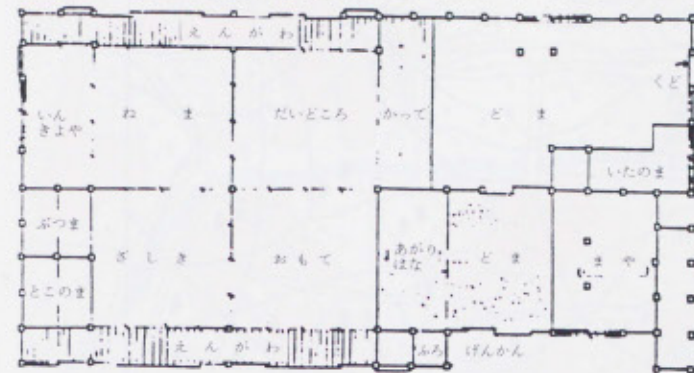
田畑のしごとの道具などを入れておくそうこ。

家からむかしをさがそう むかしの家は木や竹、土でつくられており、やねはわらでふかれています。家の前にはにわがあり、そのよこには、なや、竹おき場などもつくられていました。家の中に入ると、げんかんのすぐわきに馬をかうへやがありました。

#### おじいさんの話

むかしは、田畑のしごとやものはこぶしごとには、馬をつかっていました。きかいや自動車がなかったので、馬の強い力はとてもたいせつなものでした。馬も家ぞくのーいんとしてあつかわれ、人間と同じ家に

むかしの家のまどり



すんでいたのです。

土まから上に上がると、「よはち」と言って、ハじょうのへやが、ふすまをはさんで四つもあります。

#### おばあさんの話

むかしは、けっこん<sup>しき</sup>式やそう式などで、ひとがおおぜいあつまると、ふすまをぜんぶとりはらって、ひとつの大きなへやにしました。そして、みんなでしょくじをしたり、お話をしたりしたものです。

むかしは、しごとや行事を自分の家でやっていたので、家の外にも中にも広い場しょがひつようだったのです。

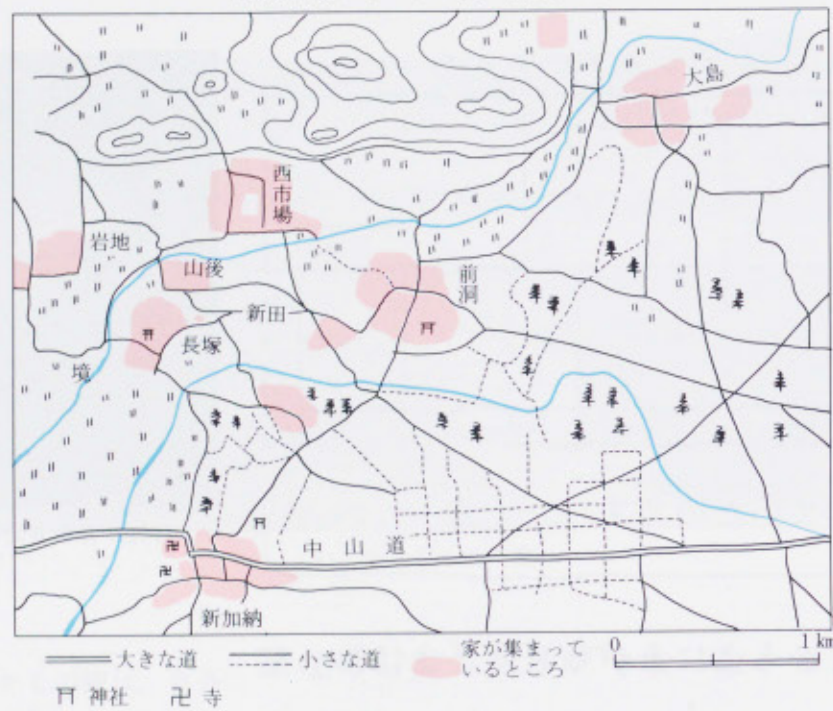


げんかんわきの馬や





高山本線がしかれる前の那加の町



## 2. うちの うつりか わり

- 二まいの絵地図をく  
らべましょう。どんな  
点がちがうでしょう。

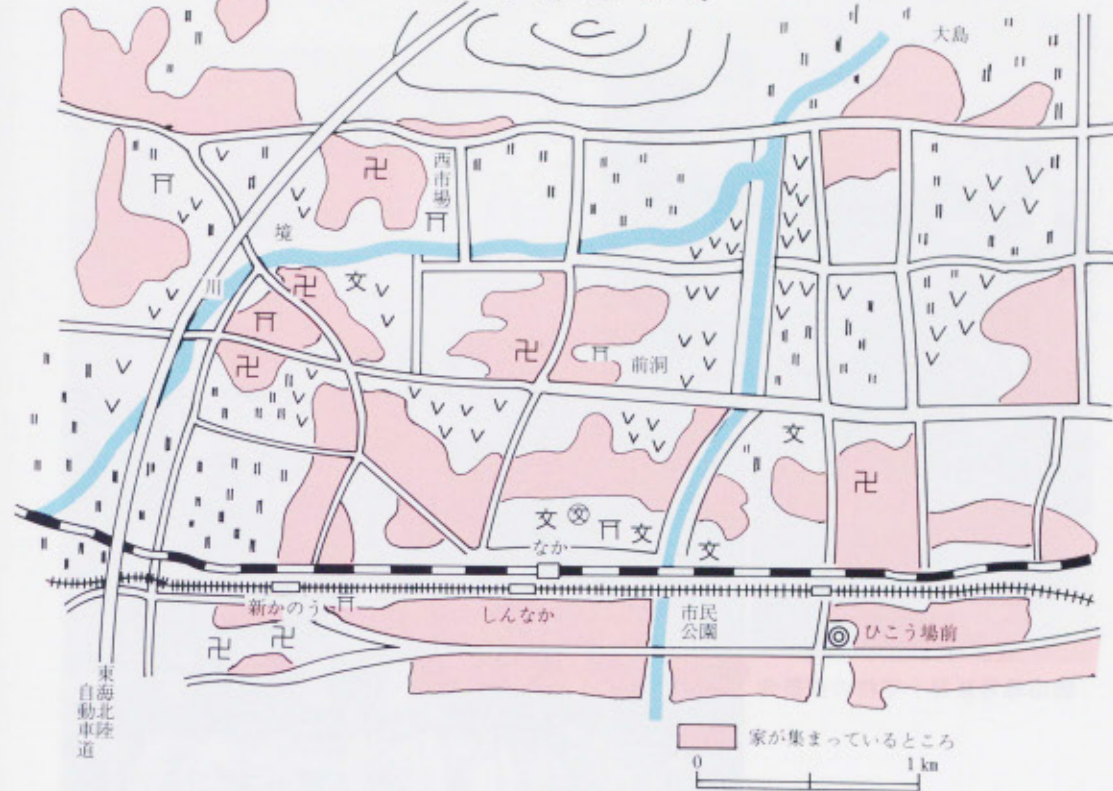
※ 1916年  
大正5年

二まいの絵地図から 上の絵地図は、那  
加駅ができる前の那加のようすです。今  
の町なみのあるあたりは、ほとんどが松  
林や草原であり、ところどころにかいこ  
んした畑が少しあったぐらいで、家は一  
けんもなかったということです。

次のページの絵地図は、上の絵地図と  
くらべて、どのようにかわったでしょう。

田がずいぶん多くなり、道ろがひかれ、  
だん地もつくられました。そして、おお  
ぜいの人やすむようになると、学校がふ  
やされ、市役所もたてられました。

今の那加の町



このように、那加の町全体が今のよう  
になるまでには、いろいろなことがあり  
ました。

1916年に、ひこう場ができ、1920年に  
は高山本線が各務原までしかれました。

1923年には、岐阜高等農林学校（今の  
市民公えんがあるところ）ができ、下宿  
屋ができるようになりました。

このほかにも、大きな工場や社たくが  
つくられたり、しょう店がならぶようにな  
りました。

※ 下宿屋  
学生にへやをかして、  
食いのせわをする。

- 人々のくらしを大き  
くかえたのは、どんな  
できごとか考えてみま  
しょう。





鶴沼尋常高等小学校の運動会



那加尋常高等小学校の卒業生

- 鉄道がしかれるまで、人々はどんなくらしをしていたのでしょ。

### 鉄道がしかれるまで

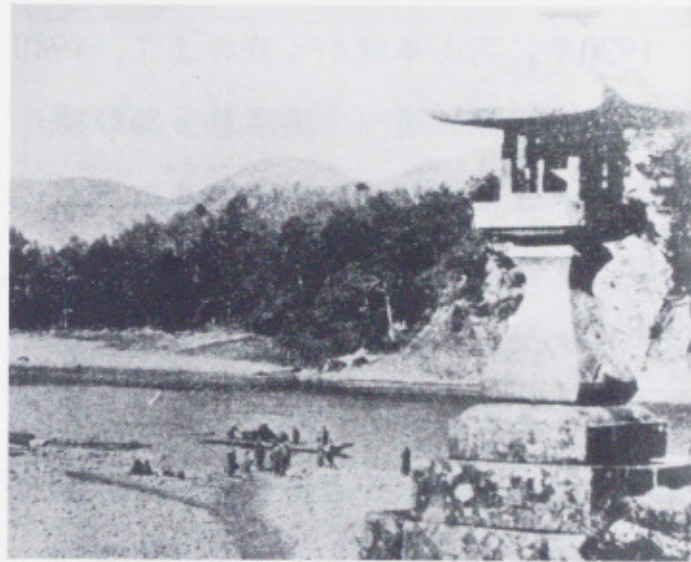
(100年前～70年前ころ)

鉄道がしかれる前は、岐阜へ行くには、わらぞうりを二、三そくもって歩いて行きました。自動車もオートバイもないので、重いにもつは馬車ではこびました。

また、このころは、みそやしょうゆはもちろん、きるものもほとんど自分の家で作っていました。そのため、とくべつな用じでもないかぎり、とおくへ出か



薪炭問屋  
電気やガスのなかったむかしは、まきやすみはととてもたいせつなねんりょうで、お店でかっていた。はいたつも、自でん車でおこなわれていました。

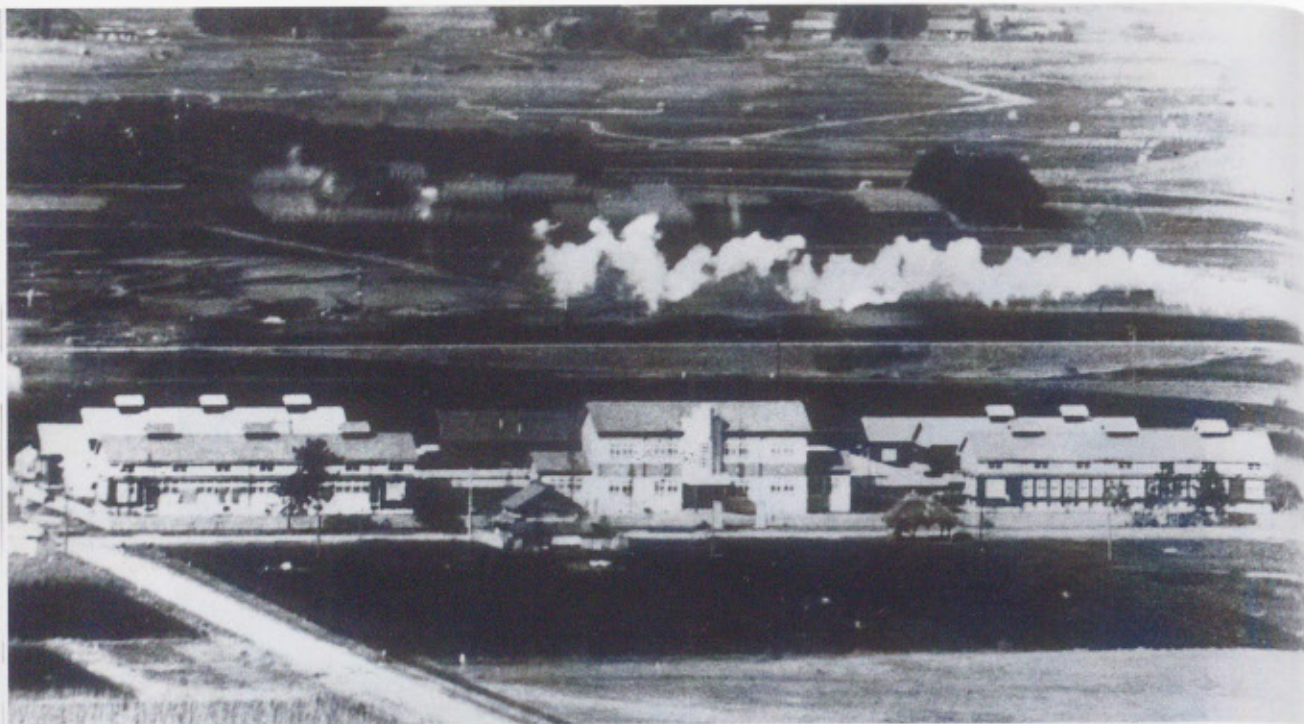


木曾川の渡船場  
犬山橋ができるまで、木曾川は、船でわたっていました。そのため、雨がふると川をわたることができませんでした。

けることは、めったにありませんでした。

鉄道がしかれてからも、ほとんどの農家は、きかいをつかわず、人間や家ちくのかで田畑をたがやすしごとをしていました。





てつ道がしかれたころの市役所のちかく

- ※ 1920年 大正9年 1920年に高山本線が各務原まで、1940年には各務原鉄道（今の名鉄各務原線）がしかれました。しかし、<sup>でんしゃ</sup>電車にのるにはとても高いお金がひつようだったので、ふつうの人は、ほとんどのることはありませんでした。

※ 1940年 昭和15年  
 ※ 電車代  
 おとなが一日はたらいてもらうお金と同じくらいの代金でした。

※ 一・六の市  
 毎月、一と六のつく日に市がたてられ、あちこちからの買いものきゃくでにぎわいました。

おじいさんの話



鉄道がしかれて、「一・六の市」がたつようになり、いろいろなものが買えるようになりました。自てん車<sup>はじ</sup>がつかわれ始めましたが、一けんの家<sup>はじ</sup>に一台あるかないかというぐあい



農家のまゆかき

で、とてもたいせつなものでしたので、出かける時はだいたい歩いて行きました。

おばあさんの話

学校から帰ると、すぐに田畑のしごとをさせられました。家の中には、おかいこさまのへやがあって、きょうだいみんなでまゆかきをしたり、くわのはを<sup>ようい</sup>用意したりしました。あそぶ時は、おとうとやいもうどの子もりをしながらあそびました。ふくはもちろん、教科書もおにいさんやおねえさんのおふるをつかっていました。



● おじいさんやおばあさんに、はじめて電車ののった時のことを書いてみましょう。





爆弾が落ちた瞬間 (三井東町周辺)



爆撃でこわされた川崎工場

● せんそうがあったころ、人々はどんなくらしをしていたのでしよう。

※ 1941年  
昭和16年

※ 供出  
のうかがつったさくもつを国へ売ること。

### せんそうがあったころ (50年前ころ)

1941年ごろから、せんそうがはげしくなってきました。

各務原では、米、むぎ、さつまいもなどがよくとれましたが、自分の家で食べる分まで供出させられていました。米がなかったので、学校へのべんとうはさつまいもをもってくる子どもがほとんどでした。

食べもののほかに、なべやかまはもちろん、お寺のかねまで、鉄はほとんど供出し、木やとうきでつくったものを



畑になった運動場



べんきょうのようす

かいました。

また、今の中学生、高校生ぐらいの男女は、ぐんじゅ工場へ行き、小学生もいもやかぼちゃづくりをしていたため、学校でのべんきょうはまんぞくにできませんでした。

1945年6月、各務原のあちこちがばくげきされ、大きなひがいをうけました。

※ ぐんじゅ工場

せんそうでつかうものをつくる工場

※ 1945年  
昭和20年

● せんそうのころのくらしぶりについて、きいたり、本でしらべたりしてみましよう。



空襲で家ぞくをなくしたMさんの話 空襲だということで、九時ごろ祖母、母、兄、それにきんじよの人とともに、うら山へにげました。B29の3きへんたいが10分かんかくぐらいでやってきて、9はつのばくだんをおとしました。あたしは目と耳をふさぎ、地面にふさりましたが、きかんじゅうのたまかばくだんのはへんかどちらかは分かりませんが、よこはらをかすっていたのをおぼえています。ちかくに母がいたのですが、心ぞうのあたりにばくだんのはへんをうけてしんでしまいました。そくしでした。兄は手のかんせつを3分の2ほどえぐられ、手はぶらぶらになり、かかとの所にかんづつしていました。ばくだんのおちた所はいわ場でしたが、おじょうまぐらいで、ふかさ1~2メートルぐらいのあながあき、そばには、ばくだんのはへんがつきさった大きなまつの木がおれていました。





鶴沼のだん地ぐん

- だん地ができたころ、人々はどんなくらしをするようになったでしょう。
- だん地ができたころ (20年前ころ)** 岐阜市や名古屋市に近いので、1970年ごろから、尾崎や鶴沼にじゅうたくだん地がつくられるようになりました。

このころから、家の中では、電子レンジをはじめとする電気をつかった道具がふえ、家のしごとがらくになりました。インスタント食品でりょう理がかんたんにできるようになるなど、生活がたいへんべん利になってきたのです。

また、オートバイや自家用車にのる人が多くなりました。お父さんだけでなく、お母さんもしごとに出かける家がふえて



電気せい品が使われるようになった家でのしごと

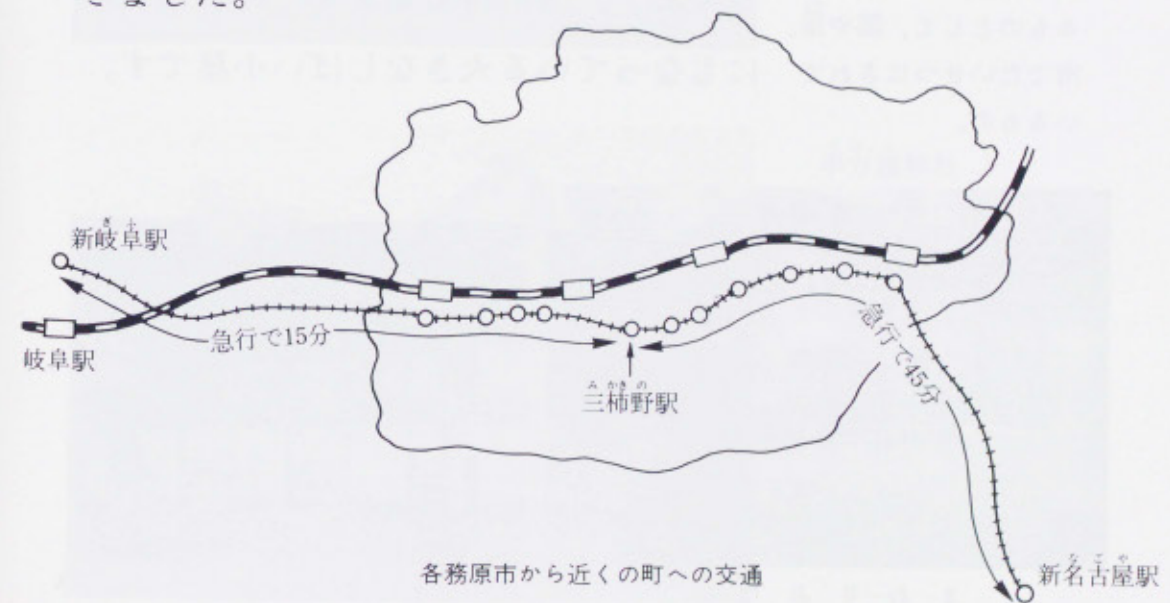


朝の通きんラッシュ (鶴沼山崎町)

きました。

子どもは、学校からかえったあとも、じゅくやスポーツクラブなどでべんきょうし、家のお手伝いをするこもへってきました。

- お父さんやお母さんが子どものころのくらしぶりとどこがちがうかくらべてみましょう。



各務原市から近くの町への交通



3. 地いきの  
古いもの  
をさがそ  
う



村 国 座

古いたてものをさがそう 各務の村国座

- 地いきの古いたてものには、むかしの人のどんなねがいがこめられているのでしょうか。

※ 指定重要有形民俗文化財

たいへんうちのあ  
るものとして、国や県、  
市でたいせつにされて  
いるもの。

は村国神社のけいだい  
にあり、今から110  
年ほど前につくられ  
ました。村国座は日  
本にある農村ぶたい  
のうち、むかしの形  
をもっともよくのこ  
しているもののひと  
つであり、国の指定  
重要有形民俗文化財  
にもなっている大き  
なしばい小屋です。



ま わ り ぶ た い



ま ど



J R 那加駅の駅舎  
高山本線がしかれた時  
のたてものがそのままの  
こっています。



鶴沼宿はたご(若竹屋)

昔、旅をした人たちが  
とまったやどで、一部た  
て直されている。身分の  
高い人がとまった本陣、  
脇本陣のあとも近くに見  
ることができます。



手力雄神社

この神社には、神話の  
「天の岩戸」に出てくる  
手力雄命がまつられてい  
ます。いろいろな時代の  
たてものや文書があり、  
重要文化財になっている  
ものもあります。





常夜燈



みちしるべ

● 地いきの古いものから、むかしのようすや生活について考えましょう。

※ 鶺沼宿

むかしのたび人が、たびのとちゅうでとまったやどやさんがたくさんあるまち。

※ 1里

約4キロメートル

1丁

約109メートル

1里=36丁

むかしをつたえるもの きゆうなかせんどう 旧中山道 きゆうなかせんどう をあるいていくと、むかしをつたえるものがたくさん目につきます。右ページの古いものマップをたどりながら、いくつかを見ていきましょう。

鶺沼宿の東の入口にあたる交差点 じょう に常夜燈 やとう があります。暗くなるとこれに明かりが入れられ、道行く人の目じるしになっていました。

どうげのあたりにはおはかがあります。その左右には、「太田へ一里二十丁 ちゆう、鶺沼へ十六丁」ときざまれており、むかしの人がたびをする時の道しるべになっていました。

古いものマップ



その他、各務原市には、「せいちひ整地碑」、  
「よめふり坂」など、いろいろな古いものがのこっています。



よめふり坂

自分のすんでいる所の古いものマップをつくってみましょう。

※ よめふり坂

むかし、坂上(各務原台地の上)から木曾川をこえてよめにいく時に、家ぞくとわかれることをかなしんで、この坂をふり返りながらおりていったという言いつたえがあります。

※ かいこん碑

あれた土地をおおせいで田んぼになおしたことをきねんしてたたせきひ。



かいこん碑





村国座でおこなわれる子ども歌舞伎

- 地いきでむかしからつづいている行事をしらべましょう。

その行事にたいする人々のねがいなどをしらべてみましょう。

- ※ 各務区  
各務東町、西町、おがせ町。

- ※ はな  
のしぶくろなどに入れたおいわいのお金。名前が書いてある場合はその人にわたし、書いてない場合はみんなで分けます。

**むかしからつづいている行事** 各務の村国座で行なわれる歌舞伎しばいは、むかしからつづいている行事です。

まい年秋になると、その年のほう作をいわって、村の人たちはしごとをわすれてしばいをたのしみました。

むかしはおとなの人がえんじていたのですが、ちかごろは各務区の小学生がえんじるようになりました。

しばいの日は、村国座のきゃくせきはまんいんになります。しばいがはじまると「はな」がぶたいになげこまれるのもむかしからつづいているならわしです。



#### 舟山祭り

おがせ池八大龍王祭のひとつ。舟にたくさんのちょうちんをかざり、左回りに池を一周します。この時に、花火もうち上げられます。



#### 左義長

1月14日か15日に行なわれる行事で「どんどやき」とも言います。かど松、しめなわ、神社のおふだ、かきぞめなどをもやします。

那加の手力雄神社のお祭りには、けんかみこしやかけ馬があって、人々のたのしみだったのですが、ちかごろはふつうのみこしだけになりました。

そのほか、左義長やもちまきなども、むかしからつづいている行事です。

さくらまつりや歩行者天国などは、まだ10年ぐらい前からですが、今では人々がたのしみにまつ行事になりました。





歌舞伎のけいこ

- 地いきの行事をまもりつづけている人には、どなくろうがあるのでしょうか。



- ※ やかた当番  
ふえやたいこでおはやしをすること
- ※ しばい当番  
歌舞伎をえんじるしごと
- ※ あんどん当番  
とうろうにあかりをともすしごと

地いきの行事をまもる人たち 前に学習した村国座の歌舞伎は、地いきのおおぜいの人たちによってまもられてきました。

#### 地いきの人の話

子ども歌舞伎は、やかた当番、しばい当番、あんどん当番のしごとを三つの町でこうたいしながらうけもちます。しばい当番ややかた当番は、夜にけいこする日がつづくので、なかなかたいへんです。でも、子どもたちがじょうずにえんじ、おきゃくさんがよろこんでくださると、本当にうれしくて、それまでのくろうもふっとびます。



#### 新しくつくり出される行事

村国真墨田神社の祭礼  
7月のおまつりでは、茅のわくぐりがおこなわれます。このわをくぐるとびょう気にならないと言われており、かやでわをつくるしごとが250年前からまもられています。





みこしコンクール(蘇原)  
この日のために、子ども会、自治会、会社などがたくさんのおみこしをつくり、ほこうしゃ天国になった道ろをねりあるきます。  
蘇原中学校の2年生やみこしほぞん会のおみこしも、コンクールをもりあげてくれます。






八木山の祭り  
八木山では、夏と冬に子どもからおとしよりまでみんながあつまって、えいがやおみこし、もちつきなどを楽しみます。



年表にまとめよう (教科書をさんこうにして年表にまとめよう)

	明	治	大	正	
今から何年前	百二十年前	百十年前	百年前	九十年前	七十年前
市のできごと	はじめて小学校ができる。  古い小学校	村国座ができる。	大きな地震(濃尾震災)にあう。	名鉄各務原線がしかれる。 犬山橋ができる。 岐阜高等農林学校ができる。 川崎重工の岐阜工場ができる 高山本線がしかれる。 飛行場ができる。	鉄道 
人々のくらし					

昭	和	平成			
六十年前	五十年前	四十年前	三十年前	二十年前	今
川崎重工の社たぐができる。 境川の放水路ができる。	せんそうではくげきにあう。 蘇原駅ができる。	伊勢湾台風におそわれる。 四町合べいして各務原市となる。 ライン大橋ができる。	愛岐大橋ができる。  だん地	市の人口十万人をこえる。  市民プール	かかみがはら航空宇宙博物館ができる。 市のプール・図書館ができる。 東海北陸自動車道ができる。
空襲 					



## 一 住みよいくらしをささえる



ごみ収集車

各務原市では、人々が住みよいくらしができるように、いろいろな仕事をしています。

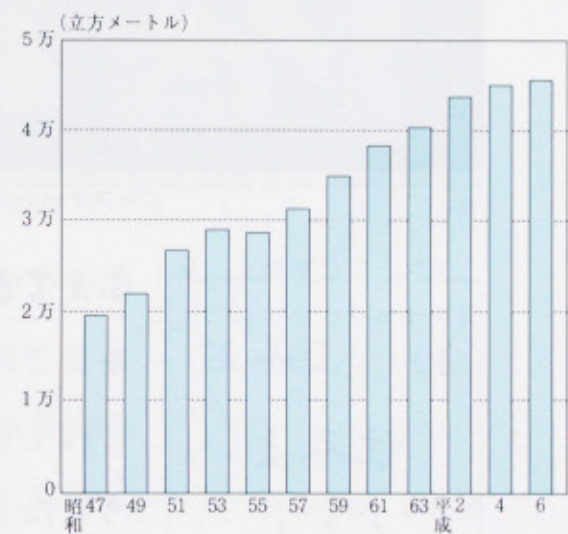
- みなさんの家から出るごみが、どのようにしまつされるか調べましょう。

上の写真のようすを、家の近くで見たことはありませんか。

わたしたちのくらしの中からは、たくさんのごみが出ます。年々人口がふえ、家庭から出るごみもふえつづけています。



毎日たくさん使われる水



水は、すいじ・せんたく・トイレなど、くらしの中でたくさん使われ、なくてはならないものです。

市の人口がふえ、くらしがゆたかになるとともに、わたしたちは、毎日たくさん水をを使うようになりました。

市では、ごみのしまつや水道の仕事をどのように進めているのか調べましょう。

- わたしたちが使う水は、どこから、どのようにして送られてくるのでしょうか。

- 学校や家で1日に使う水の量や、使われ方を調べてみましょう。





ごみステーションに集められたごみ

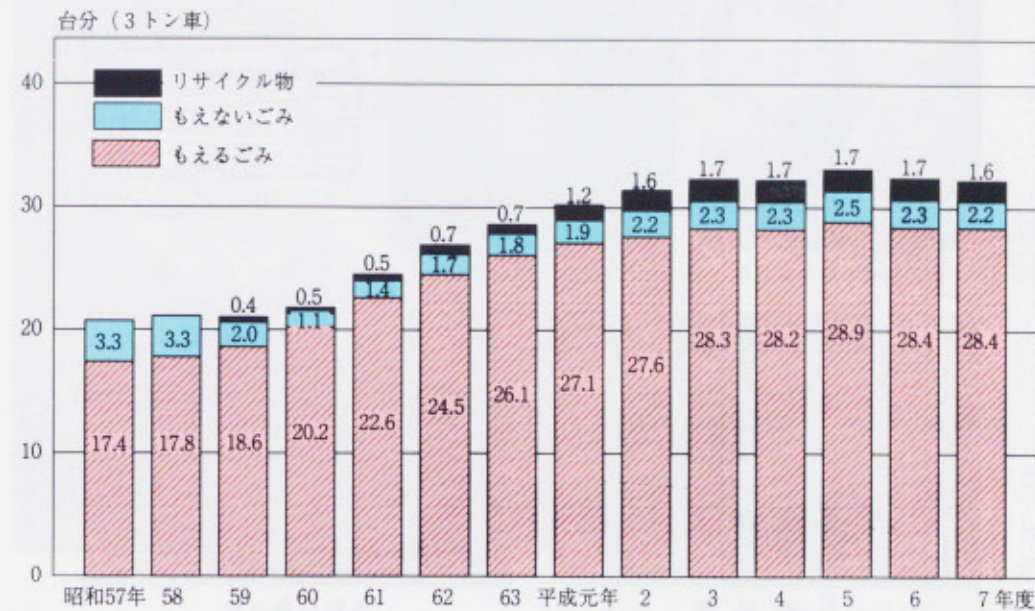
## 1. ごみと 住みよい 暮らし

※「118トン」  
ごみ収集車でやく40  
台分です。

**ふえてきたごみ** わたしたちの家では、毎日ごみを出していますが、市全体ではどれくらいのごみになるか、みなさんは考えたことがあるでしょうか。各務原市では、市全体で1日に118トンほどのごみが出ます。そのごみが、町のあちらこちらにすてられていたらどうなるでしょう。町がとてもよごれてしまいます。いやなおいもするでしょう。そこには、はえがわき、悪い病気が発生したりします。

各務原市では、そのようなことのないように、みなさんの家から出されたごみ

ごみ収集量のうつつりかわり（一日あたり）〈ごみ対策課調べ〉



をきれいにしまつできるように、いろいろなくふうをしています。

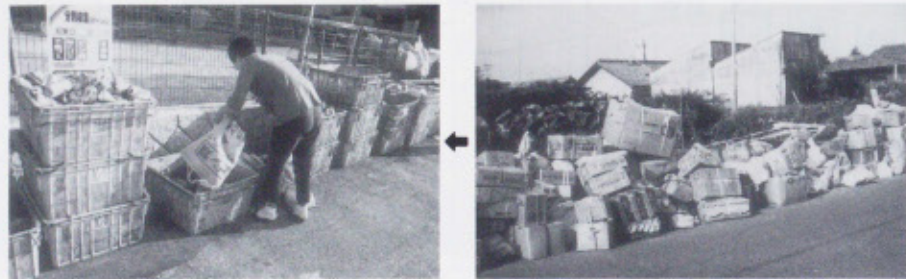
わたしたちの家からは、毎日いろいろな種類のごみがたくさん出ます。ごみには、野菜や紙のようなもえるごみと、ガラスやかんのようなもえないごみがあります。そのほかにも、プラスチックやビニールのように、もやすと体に害のあるけむりを出すごみや、こわれた家具や電気器具のような大きなごみ（粗大ごみ）もあります。市が、ごみのしまつにかけるとは、平成7年度にはやく10おく円にもなりました。

- 上のグラフを見て、ごみのうつつりかわりについて話し合みましょう。
- ※「リサイクル」  
ごみの中で、まだ使いみちのあるものを、再生業者にうり、もう一度利用することです。
- わたしたちの家では、どんなごみがどのくらい出ているのか調べてみましょう。
- 家で1週間に出るごみを、教科書のように調べて話し合みましょう。





もえるごみ



もえないごみ

- ごみのしまつのしかたはどのようにかわってきたでしょうか。
- むかしのようすを、家の人から聞いて、まとめてみましょう。

かわってきたごみのしまつ 市がごみ収集を始める前は、ごみを、それぞれの家でやいたりうめたりしてしまつていました。しかし、家がたてこんでくると、自分の家でしまつすることがむずかしくなってきました。そこで、市がごみを集めることにしました。

ごみのしまつのうつりかわり

昭和三十三年	● 市が、生ごみ、たい肥器、焼きやく器の無し、ようかし出しを始める。
三十四年	● 市が、資源回収に一キロあたり二円のはし、金をだす。
三十五年	● 市が、(分別収集) あきかん、あきびんなど、もう一度使えるものをわけてすて始める。
三十九年	● もえないごみは、大伊木でうめたてる。
四十三年	● 須衛に北清掃センターができる。
四十三年	● ごみをステーションで集めるようにする。
四十八年	● 市でごみぶくろを決める。
四十八年	● 一日に四十トンのゴミが燃やせる。
四十四年	● 稲羽・大佐野に衛生センターができる。
四十四年	● 那加・蘇原にしょうきやく場があった。
四十四年	● だんだん市全体に広がっていった。
四十四年	● 市が那加の一部でゴミ収集を始める。
昭和三十三年	● 市がふえ、家もたくさん建ち始める。
昭和三十三年	● 家のにわでもやす。
昭和三十三年	● あなにうめる。
昭和三十三年	● 空き地のごみすて場にする



むかしのごみのしまつ

初めのころは、ごみ収集のトラックが1けん1けんの家をまわって集めていました。そして、那加と蘇原のごみ焼却場しょうきやくじょうでもやしていました。しかし、家がふえ、ごみもふえてきたため、大佐野に衛生センターを作り、そこでもやすようになりました。そのころになると、市でさだめたポリぶくろにごみを入れ、ステーションに持ちより、収集車がそれを集めていくようになりました。

今では、北清掃センターでごみをもやしています。また、ごみの種類しゅるいで分けて集める分別収集ぶんべつもおこなわれています。



30年ほど前のようす

- 左の写真や上の絵と、今のごみのしまつのしかたのちがいを話し合みましょう。



市でさだめたごみぶくろ

- 市が、とうめいのポリぶくろに決めたわけも考えてみましょう。

※「ステーション」

それぞれの家庭からごみを持ちより、集める場所。ここへ収集車が来て、持っていきます。



## 可燃物ステーション

ごみを出す日  
毎週 ・ 曜日



各務原市  
ステーションの  
たてふだ



もえるごみのステーション

- ごみは、どのようなしくみで集められているでしょうか。
- かんさつカードを使って、家や学校の近くのステーションをかんさつしましょう。

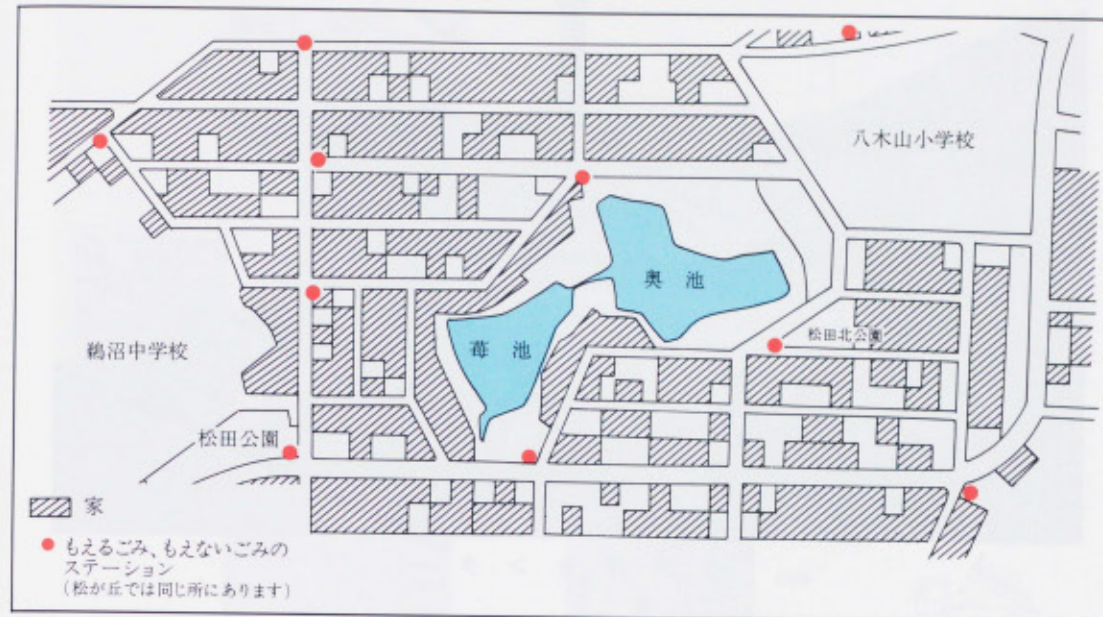
ごみを集めるくふう 鶺沼の松が丘では、もえるごみは月曜日と木曜日の週2回、もえないごみは月1回出すようになっています。

ごみ収集の日になると、町の人たちは決められたごみぶくろにごみをつめて、家の近くにあるステーションに、決められた時間までにごみを出します。

ステーションの場所は、住んでいる人たちが話し合っただけで決めました。

ステーションは、20けんから50けんに1か所決めることになっています。そして、収集車が集めやすいように、広い道路にそったまちかどに作られています。

松が丘のごみステーション



このようにして、市内では、平成8年、もえるごみのステーションが1411か所、もえないごみのステーションが564か所も決められています。

また、ステーションはよごれやすいため、町内で当番を決めてそうじをしている所もあります。

ステーションに出されたごみは、決められた時こくになると収集車が来て、集めていきます。

ごみの集め方を見学したり、<sup>はたら</sup>働く人に話を聞いたりして、ごみ収集のし方やくふうを調べてみましょう。



ステーションの  
そうじをする人

- 自分たちの住んでいる町では、どこにステーションがあるか調べ、ごみ収集の見学に行きましょう。





北清掃センター

**ごみが集まるせいそう工場** ごみを集めた収集車は、ごみを、須衛にある北清掃センターに運びます。市内のごみは、すべてここに集められます。

※「北清掃センター」  
24時間休みなくもやしつづける炉は、月に一回ほど、てんけんのために休めます。

センターに集まったごみは、大きな2つの炉によって、月曜日から日曜日まで、夜中も休まずもやしつづけています。

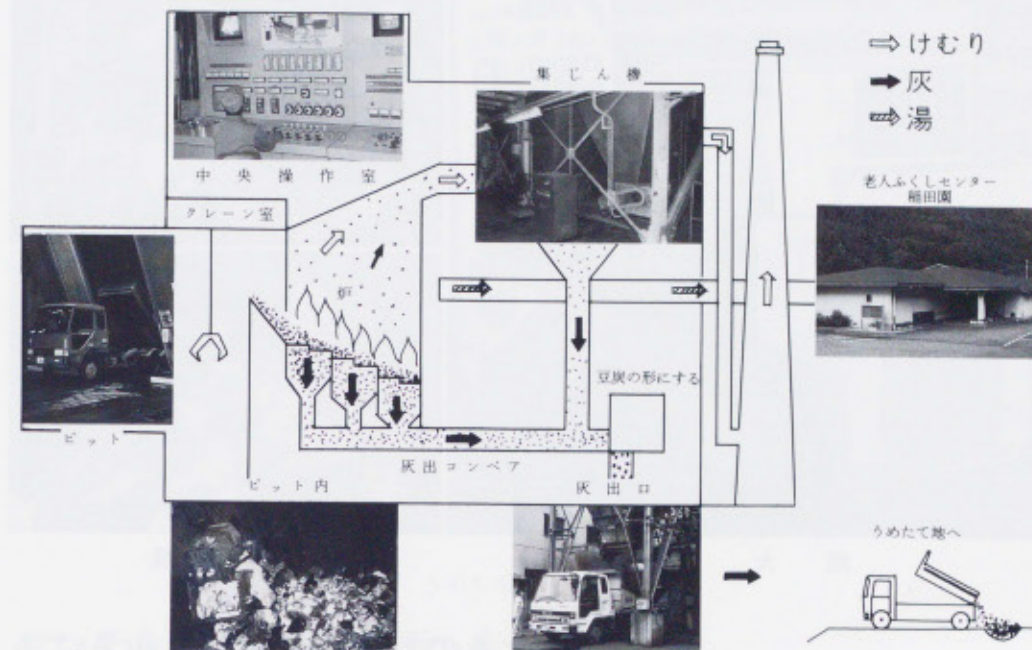
炉では、900度以上のねつでごみをもやすので、いやなにおいは出ません。こまかいほこりや灰も、集じん機でとりのぞいています。

また、もえのこった灰は、人の害にならないように、機械で5cmほどのボール



かためられた灰

北清掃センターのしくみ



の形にかためてから、大伊木のうめたて地に運び、うめています。

**センターのおじさんの話** 家から出るごみには生ごみが多く、やく半分が水分です。だから、もやすためにお金も時間もたくさんかかります。

また、ごみにまじっているスプレ-のかんが、機械の中でばく発したり、ピンがわれたりして、とてもあぶないです。

※「稲田園」  
老人ふくしセンター。  
ごみをもやした時に出る熱で湯をわかし、お風呂に使っています。

● 清掃センターのおじさんの話から、ごみを出すときに気をつけることを話し合いました。





粗大ごみ

かん・びん類

- もえないごみは、どのようにしまつされているのでしょうか。

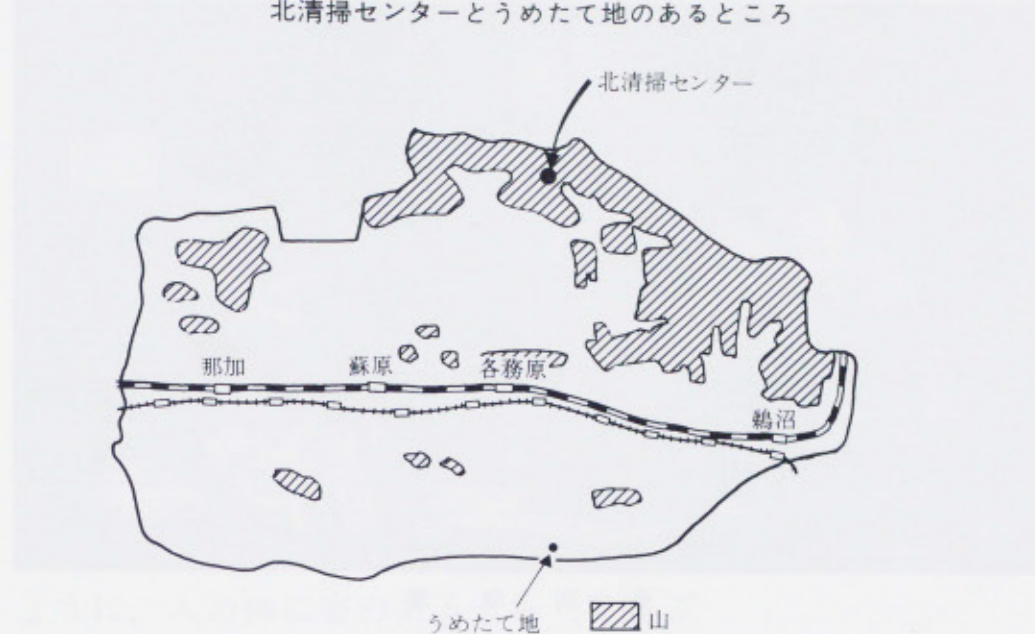
**もえないごみのしまつ** 家から出るごみの中には、もえないごみがあります。

もえないごみは、北清掃センターの粗大ごみ破砕<sup>はきい</sup>そうちにかかけられます。その中では、いきおいよく回転するハンマーが、10cmほどの大きさにくだいていきます。そして、まだもやすことのできるごみ、鉄、ガラスなどに分けています。

鉄は集められ、鉄くずとしてうります。

ガラスやせともものなどの、もやすことのできないごみは、大伊木のうめたて地に運ばれ、北清掃センターから出た灰といっしょにうめたてられています。

北清掃センターとうめたて地のあるところ



**せいそう工場のある場所** 市の北東部で関市に近い山の中に、背の高いえんとつが見えてきます。これが北清掃センターです。センターに着いても、ごみをもやすけむりやにおいはありません。北清掃センターには、新しい機械が取り付けられているためです。

ごみをしよりするには、一か所に集めなければならないので、市の中心にあるととても便利<sup>べんり</sup>です。しかし、市の中心は住たくや商店がたちならび、大きな工場をつくる土地がありません。市では長い時間をかけ、計画をたててきました。

- 北清掃センターが、このような場所にあるのはなぜでしょう。

- 北清掃センターがつくられるまでに、市の係の人たちは、どのような話し合いをしてきたか考えてみましょう。

土地の広さ  
 予算（つくるための  
 お金）  
 交通（道ろの広さや  
 車の通る量）  
 住民のねがい



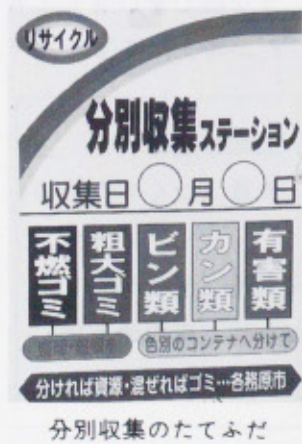


分別収集

- ふえつづけるごみをへらすために、どのようになくふうをしているのでしょうか。

※「分別収集」

ガラス・金ぞく・きけん物などに分けて集めることです。



**ごみをみなおす** ごみはどんどんふえつづけて、もえないごみや灰をすてるうめたて地は、数年でいっぱいになってしまうのではないかとこの心配がありました。

そこで、今までごみとしてすてられていた<sup>あき</sup>空かんや空びんなど、もう一度利用<sup>り</sup>できる物を集める分別収集が、昭和59年8月から始められました。昭和57年にはやく6000トンもあったもえないごみが、昭和60年にはやく3000トンにもへり、うめたて地をやく2倍も長く使えるようになりました。

また、かん電池やけい<sup>とう</sup>光灯・鏡<sup>かがみ</sup>などの



生ごみたい肥器

校区資源回収

児童会がすすめるアルミかん回収活動

ように、人の体に<sup>がい</sup>害のあるごみ（有害ごみ）は、分別収集で分けられ、清掃センターへ運んだあと、ドラムカンにつめ、遠く北海道まで運んで、水銀を<sup>とり</sup>のぞいています。

市では、このほかに、家庭から出る生ごみをへらすために、「生ごみ<sup>ひき</sup>たい肥器」を各家庭で利用することをすすめ、今ではこれを使う家庭がずいぶんふえてきました。

また、各校区の<sup>しげん</sup>資源回収では、古新聞やざっしのほかに、近ごろでは、アルミかんや牛乳<sup>にゅう</sup>パックなども多く集められるようになってきました。

市の係の人の話

今、ごみをすてる<sup>すてる</sup>ときに、一番してほしいことは、もえるごみの中の紙くずを分けることです。紙は、分けるととても大切な<sup>しげん</sup>資源に生まれかわります。

- みなさんの家では、ごみをへらすためにどのようになくふうをしていますか。調べてまとめてみましょう。





### 不法投棄者の通報を!

この付近に、ゴミを捨てる悪質者を  
目撃した方は、車両ナンバー等の通報  
に、ご協力をお願いします。  
ゴミを捨てた者には、法律により厳  
重に処罰します。

[連絡先] 各務原警察署 TEL.82-1125  
各務原市役所 TEL.83-1111

投げすて防止を  
よびかけるかんばん

山のふもとにすてられているごみ

- みなさんの身の回り  
では、どのような活動  
がおこなわれているか  
調べてみましょう。

かんきょうを守る ごみステーションや  
せいそう工場がととのってきて、町はず  
い分きれいになってきました。

しかし、まだ道路や公園・空地などに  
投げすてられたごみを見かけることがあ  
ります。

各務原市では、年に2回市民清掃の日  
がもうけられています。そのほかにも、  
町の人が話し合い、町内で清掃活動をお  
こなっているところもあります。

また、学校の奉仕活動や子ども会でも、  
地いきの公園や通学路のそうじなどがお  
こなわれています。



アルミかん収集



奉仕活動



市民清掃

みなさんの住んでいる地いきや学校・  
子ども会では、住みよい各務原市にする  
ために、どのような取り組みがされてい  
るでしょうか。

- 住みよい町を守るた  
めに、みなさんはどん  
なことができるか話し  
合いましょう。



市の水を送るしくみ (水道事業年報より)



## 2. くらしをささえる水

- わたしたちが使っている水は、どこから、どのようにして送られてくるのでしょうか。

水はどこから わたしたちは、毎日たくさんのお水を使っていますが、この水はどこから来るのでしょうか。

ほかの市では、川や湖の水をきれいにしている所もありますが、地下水にめぐまれている各務原市では、井戸から水をくみ上げて使っています。地下水は、おもに雨水が地面にしみこんだものが地下にたまっています。

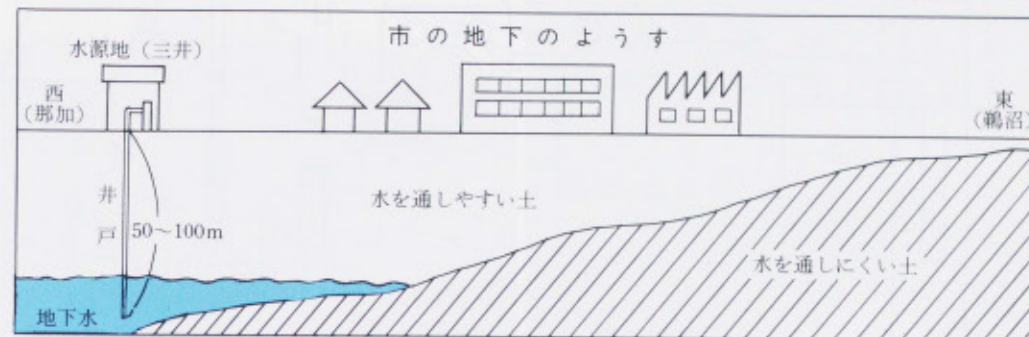
各務原市の地下のようすは、右上の図のようになっています。地下水の集まりやすい、市の西部に井戸がほられ、水がくみ上げられています。



水源地のしせつ (三井)



地下水をくみ上げるポンプ

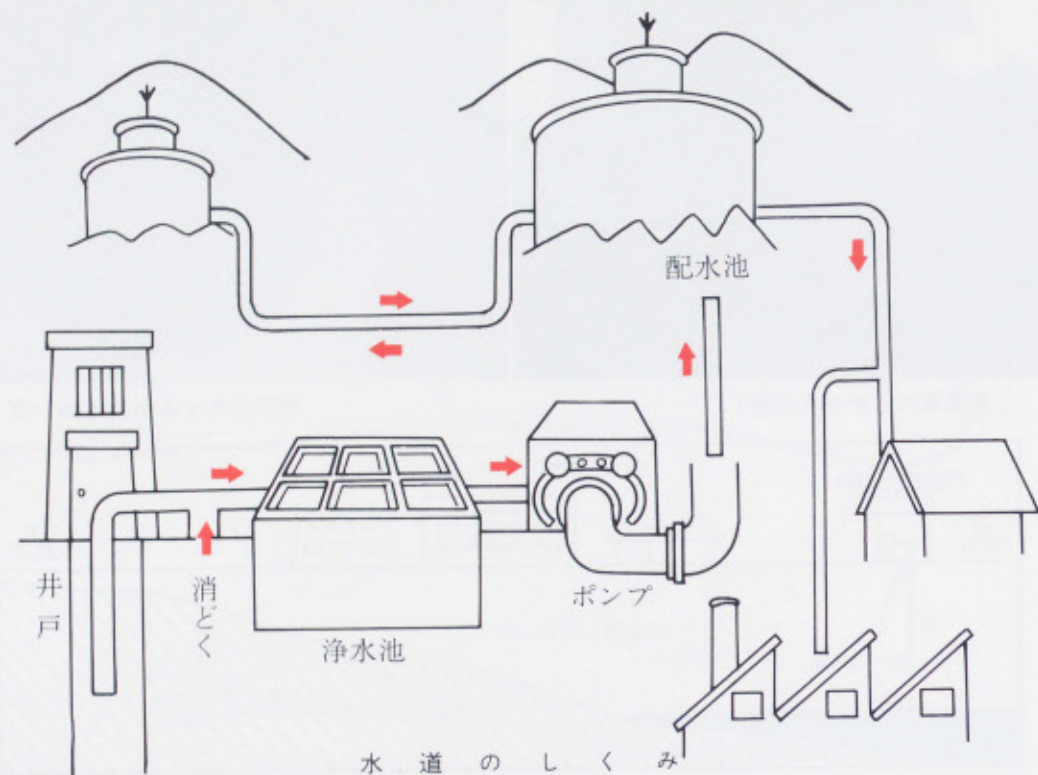


井戸がある所は、三井と西市場の二か所の水源地です。井戸の数は、三井水源地には13本、西市場水源地には9本で、合わせて22本あります。

三井水源地でくみ上げられた水は、遠く鶴沼地区まで送られ、広いはんに使われています。

井戸の深さは、50mから100mもあり、たいへん深いところからきれいな水をくみ上げています。そのため、川や湖などの水にくらべて、よごれをとりのぞくためのしくみは、かんたんなものです。





● 水源地でくみ上げられた水は、どのようにしてわたしたちの家に送られるのでしょうか。

**水を送るしくみ** 井戸からくみ上げられた水は、消どく（殺菌）をして、浄水池に送られます。浄水池では、目に見えない小さなゴミを取りのぞきます。

きれいになった水は、大きなポンプで山の上にある配水池にくみ上げます。

水を配水池にくみ上げるのは、高い所から低い所へ落ちる水のいきおいを利用して、わたしたちの家一けん一けんに水を送るためです。みなさんも、山の上の大きなタンクを見たことがありますね。

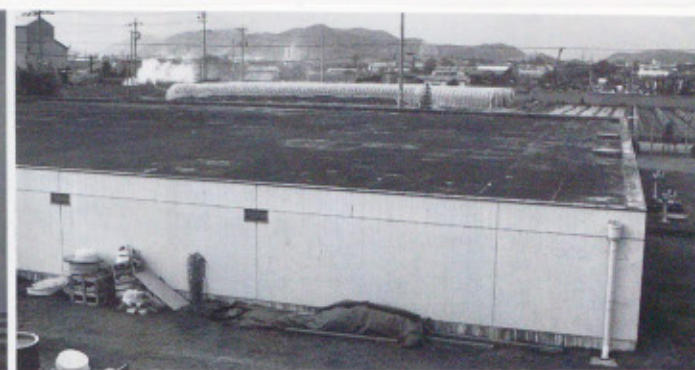
配水池は、市内に11か所ありますが、近くのものどうしはつながっています。

※ 配水池  
各家庭に送る水をためておくタンク。  
(市内に11個)

※ 受水池  
配水池に水を送るために、水をためておくタンク。  
(市内に6個)



消どくをするしせつ



浄水池



配水池



コントロール室のコンピューター

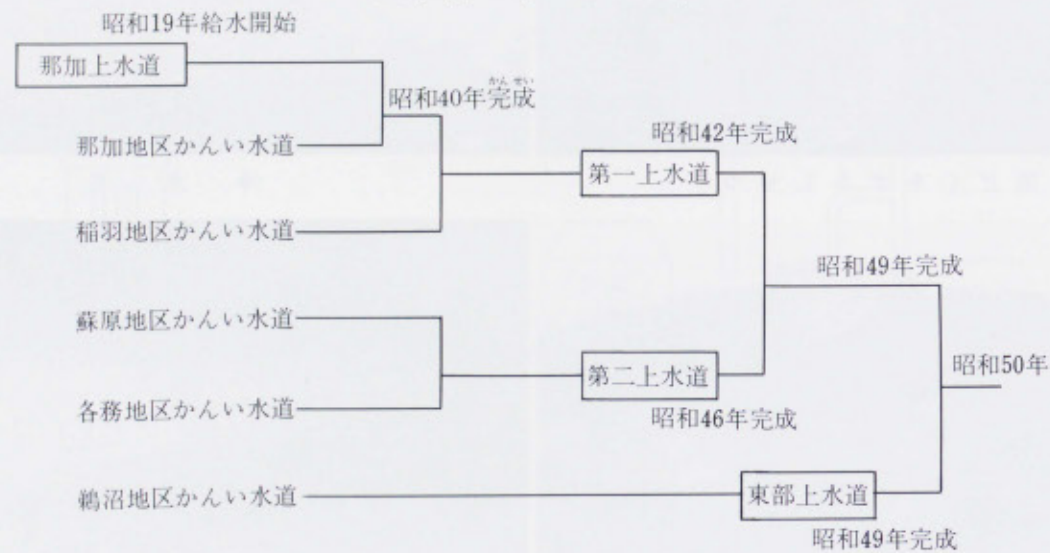
これは、もし、どこかの水が足りなくなってしまうときに、ほかの配水池から水を送るようにするためです。

**水道部のおじさんの話** 市内の水道

のしせつはすべて無人化されており、機械がきちんと動いているかどうか水道部のコントロール室のコンピューターでわかります。わたしたちはみなさんがいつでも水を使えるように、休みの日や夜中も交たいて、コンピューターのみはりをしています。



上水道のうつりかわり



- 水道は、どのような歩みをたどってきたのでしょうか。

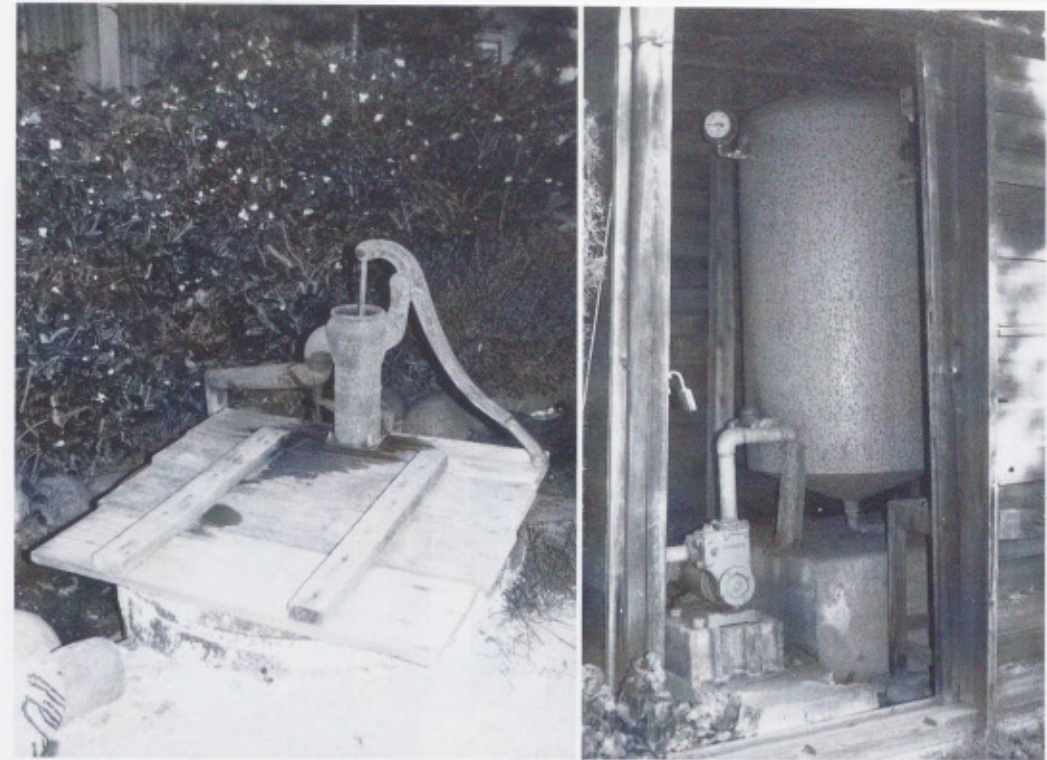
※ 「かんい水道」とは、人口が、101人以上・5000人以下の地いきに水を送る水道のしくみです。

**水道のはじまり** むかしは、どの地いきでも、川の水や、山から流れてくる水を使ったり、自分の家に井戸をほって、水をくみ上げたりしていました。

昭和15年ごろから、市内の5つの地区では、「かんい水道」といって、地区ごとに井戸をほり、ポンプで水をくみ上げ、タンクにためて配水する、小さなしくみの水道を使うようになりました。

昭和19年になると、那加駅前地区で、「那加上水道」がつくられました。これが今のような市の水道のはじまりです。

しかし、他の地区では、まだ「かんい



井戸水をくみ上げるポンプ

かんい水道

水道」が使われており、安心して使える水や量が十分ではありませんでした。雨のふらない日が長く続くと、水が足りなくなったり、にごったりしてこまることがありました。また、火事があった時、消火するのにも不安がありました。

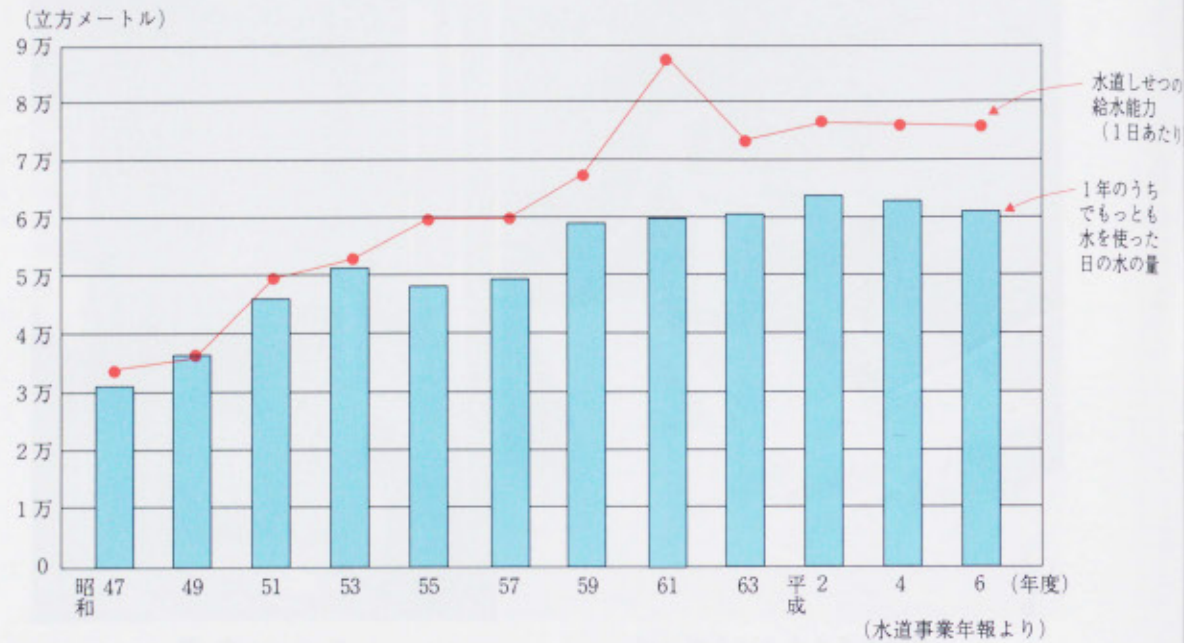
そこで、市では、昭和36年から、それぞれの地区にあったかんい水道をまとめて、十分に水を送ることができるように順じゆんに工事を行っていきました。

こうして、昭和50年には、各務原市全体で、今のような上水道を使うことができるようになったのです。

- 自分の家では、今のような水道ができる前は、どのようにしてきたのか調べてみましょう。家ぞくや近所のお年よりに聞いてみましょう。

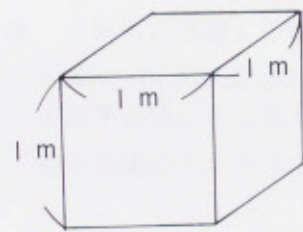


1日のうち、もっとも水を多く使った日の水の量と給水能力



- いつも安心して水が使えるようにするために、人々はどのような努力をしているのでしょうか。

※ 1立方メートル (1 m<sup>3</sup>) 1000 ℓ



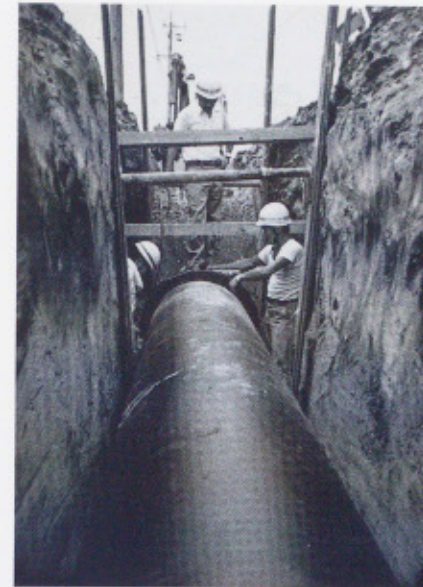
**水とわたしたちの暮らし** 市では人口がふえるのに合わせて、水道のしせつをふやす<sup>どつく</sup>努力をつづけてきました。

何年も先までの人口と、市全体で使う1日あたりの水の量を予想して、工事を進めてきたのです。

各務原市に住むわたしたちが、水の心配をしないで、いつも水のある暮らしができるのはそのためなのです。

水道かんから水がもれないように、新しいかんに取りかえる工事に、市では力を入れています。

しかし、今、わたしたちがゆたかに使



水道しせつの工事

水道しせつの工事計画(平成8年度現在)

- ・古くなってきた水道管を取りかえる。
- ・ポンプを新しいものに取りかえる。
- ・水道管や水道しせつを、地しんに対して強いものにしていく。
- ・地しんなどの時にも、断水(水が出なくなる)の地域が少なくなるように、新しく配水池をつくる。

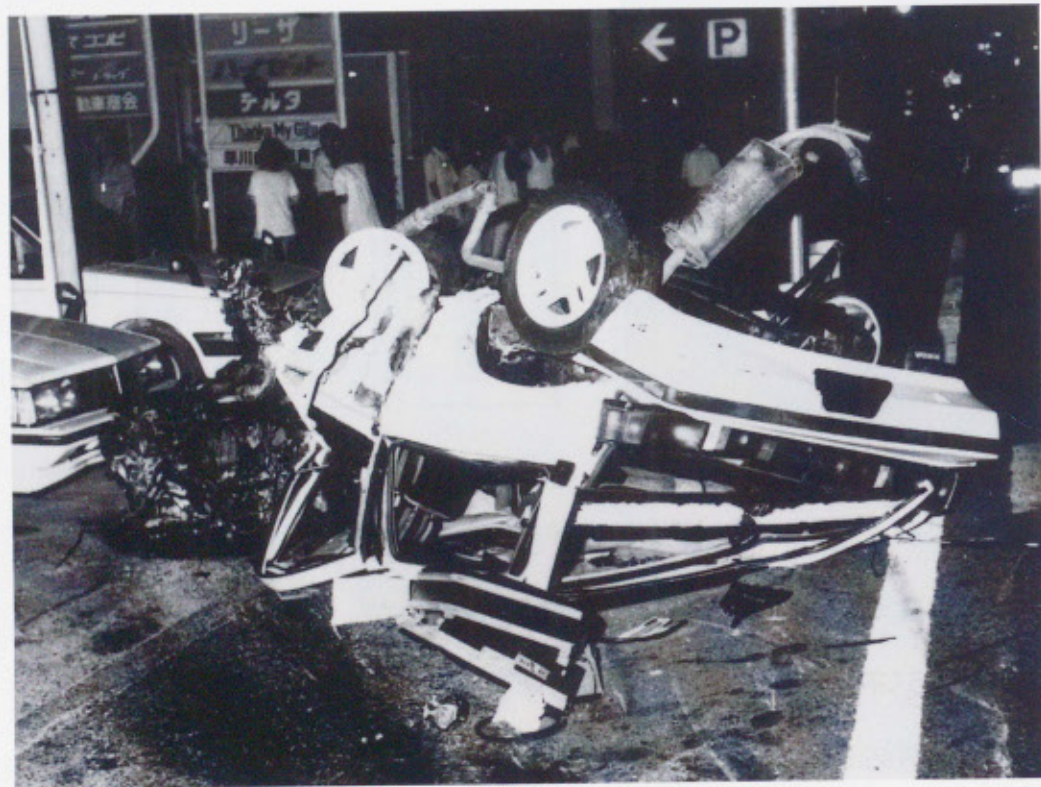
うことができる水の量にはかぎりがあります。日本の地いきによっては、夏になると水が不足するために、十分に使えない所もあるのです。

**水道部のおじさんの話** 各務原市では、人口がふえるのに合わせて、新しい井戸をほったり、水道かんをふやしたりしてきました。しかし、いくら水道のしせつをふやしても、くみ上げる地下水の量にはかぎりがあるので、大切に使ってほしいのです。

- かぎりある水を大切に使うために、どうすればよいのか話し合ってみましょう。



## 二 安全なくらしを守る



- みちかにあった交通事故について、発表してみましよう。

このあいだ、わたしの家の近くで交通事故がありました。

おじいさんが自転車に乗っていてせまい道からとび出し、自動車にはねられたというのです。さいわいスピードを出していなかったのが軽いかげだけですんだそうです。

おそろしい交通事故は、なぜ起きるのでしょうか。



消火活動をする消防しょの人たち

遠くでサイレンの音がします。火事のようにです。まもなく消防自動車<sup>しょうぼう</sup>がサイレンをならして走って行きました。

消防しょは、火事にそなえて「火の用心」のよびかけや消火くんれんをしています。

交通の安全や火事をふせぐ仕事をしている人たちの活動のようすやしせつをくわしく調べましよう。

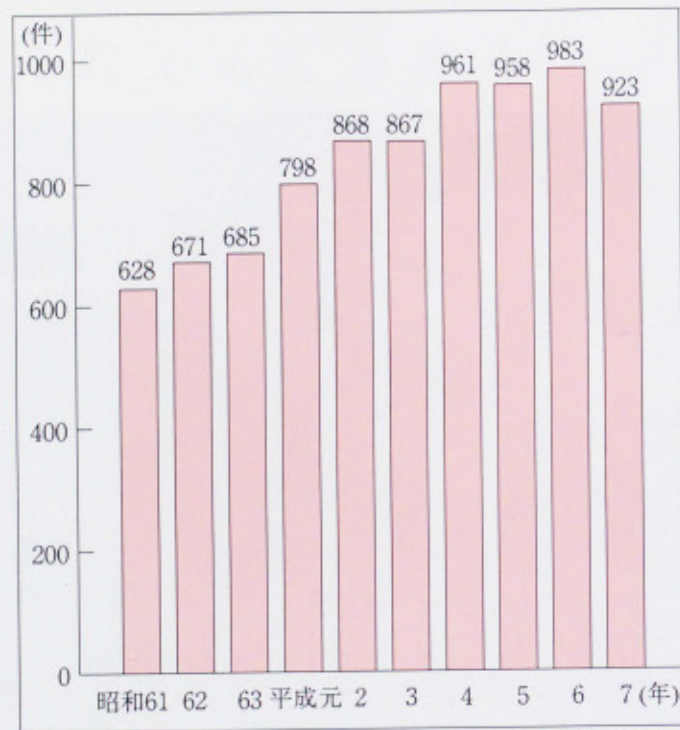


交通事故で死ぼうした人・  
けがをした人の数  
(各務原市)

(年)	死ぼうした人	けがをした人
昭和61	13	844
62	12	887
63	9	871
平成元	14	1069
2	17	1126
3	15	1144
4	15	1243
5	17	1242
6	16	1291
7	14人	1230人

〈『ぎふ交通統計平成7年』  
(岐阜県警察本部)〉

交通事故の件数の変化(各務原市)



〈『ぎふ交通統計平成7年』(岐阜県警察本部)〉

## 1. 交通事故 からくらしを守る

- 自分たちの住んでいる地いきの交通事故のけん数を調べてみましょう。

**おそろしい交通事故** 各務原市の交通事故のようすについて調べてみました。

交通事故は、広い道があり、人がたくさん住んでいる鶉沼地区にたくさん起きています。大きな事故は、午後4時から午後8時にかけての時間にたくさん起きています。

事故でなくなる人は、わかい人におおく、とくにスピードの出しすぎが原因です。

## 交通事故にあった子の話

### 交通事故にあつた子の話

夏休みの午後のことです。友だちと広場でおにごっこをして遊んでいました。おにごっこにもあきて、野球をすることになりました。ぼくは、グローブを持ってきていなかったのに、家へ取りに帰ることになりました。いそいでかけ出しました。ゆうぎ君の家の前の道を横ぎろうと道に飛び出した時に「キーレ」というものすごい音がしました。ぼくは、車にぶつかってたおれでしまいました。運転をしていた人が心配そうにかけよってきました。近所の人も家から出てきました。救急車のせられて病院に行きました。右足の骨を折っており、まっ葉ぶえを使うことになりました。夏休み中、オキな野球もできなくなりました。しまいました。

小学生の交通事故は、自転車の正しい乗り方をしないために起きることが多いのです。1年のうちでは、7月、8月の夏休みに多く、その次に新学期が始まる4月に多く起きています。

毎年たくさん起きている交通事故から人々のくらしを守るため、どのような人がはたらき、道路には安全のためにどのようなしせつがあるか、調べてみましょう。

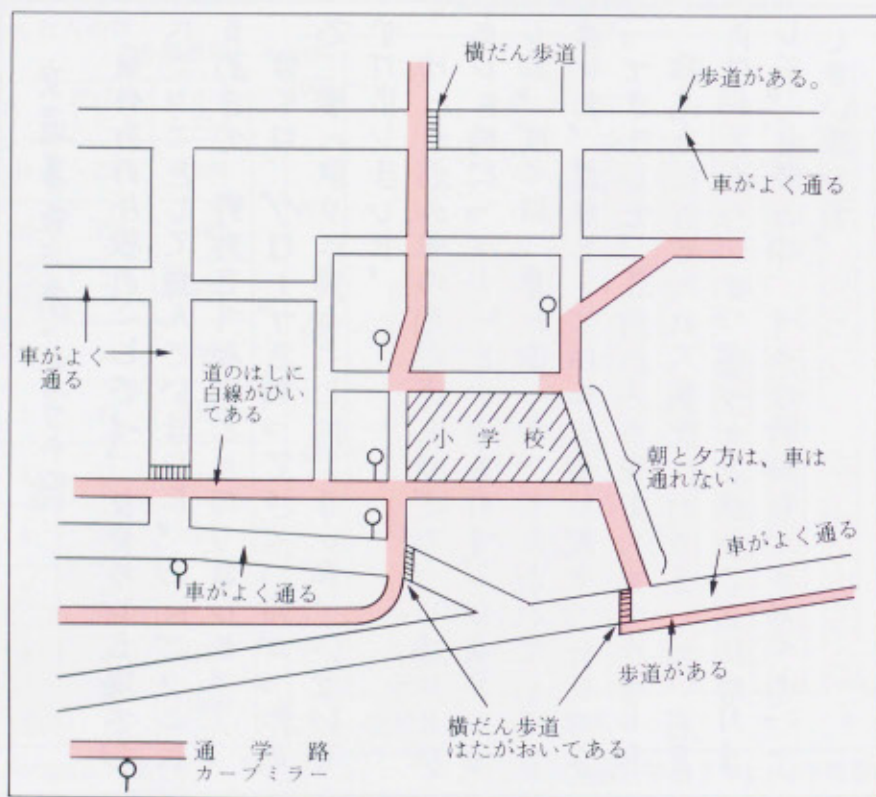
地くべつ交通事故の件数  
(平成7年)

地く	事故の件数	死ぼうした人
鶉沼	374	6
那加	233	2
蘇原	206	2
稲羽	110	4
合計	923件	14人

〈各務原警察署の事故分析より〉



学校のまわりの交通のようすと安全のためのしせつ



交通りょうと安全を守るしせつ 町には、

- 学校のまわりの道路の安全のためのしせつや交通量を調べてみましょう。

自動車やオートバイがとてもふえています。いくらわたしたちが注意しても交通事故が起きることがあります。そこで、わたしたちのまわりには、交通事故をふせぐためにどんなしせつがあるのか、調べてみましょう。

- 自分たちの校区で、どこで多く事故が起きているか調べてみましょう。

通学路には、朝や夕方には車が通っていけないとか、横たん歩道があったり、道のはしに白線（路そくたい）をひいた



えん石



歩道



歩道橋（渡道橋）



地下道

り、えん石をもうけるなど、特に安全のためのしせつがたくさんあります。

交通りょうの多い道路には、歩道橋や地下道があります。

見通しの悪い交差点にはカーブミラーがあったり、商店がいのように人や車の多い道では、広い歩道があります。これらのしせつは、事故をふせぐために、とても大切な役目をしています。

交通事故のおもな原因  
(歩行者に大きな原因がある場合)  
(平成7年 各務原市)



〈「ぎふ交通統計平成7年」(岐阜県警察本部)〉





PTAの人たちの朝の登校指どう

- 交通事故をふせぐために、人々はどのような力やきょう力をしているのでしょうか。

**事故をふせぐための人々のきょう力** 交通りょうの多い道路の交差点や、見とおしの悪い横だん歩道などで交通整理をしている警察<sup>けいさつ</sup>の人を、時々見かけます。

また、ようち園や小学校で開かれる交通安全教室では、市の「市民相談課<sup>か</sup>」の人や「交通安全婦人<sup>ふじん</sup>」の人たちがきょう力しています。

このように、多くの人々が交通事故から人を守ったり、交通のきそくを教えたりして、事故をふせぐど力をしています。

毎月の1日、15日と、春と秋の交通安



交通安全教室



交差点に立つ交通安全きょう会の人

全の期間などには、「交通安全きょう会」「交通指どう隊<sup>たい</sup>」「交通安全婦人」の人たちが、交差点に立って交通指どうをしているのを見かけます。

毎朝登校してくる時、交差点で黄色いはたを持ったPTAの人たちが交通指どうをしています。これは朝になると、つとめに出かける人の車でとくに交通がはげしくなるので、事故の起きやすいところで交たいでわたしたちを事故から守っているのです。

このように、事故をふせぐために多くの人々が協力<sup>きょうり</sup>しています。

- ※ 「交通安全きょう会」  
町内の役員の人ボランティアで、交通安全期間や市の行事の時（マラソン大会・航空祭等）に交通指導をしています。

- ※ 「交通指どう隊」  
市からたのまれた人達で交通安全きょう会の人と同じような仕事をしています。

- ※ 「交通安全婦人」  
町内の係の女の人が学校の子も達が交通事故にあわないように学校や道路で交通指導をしています。



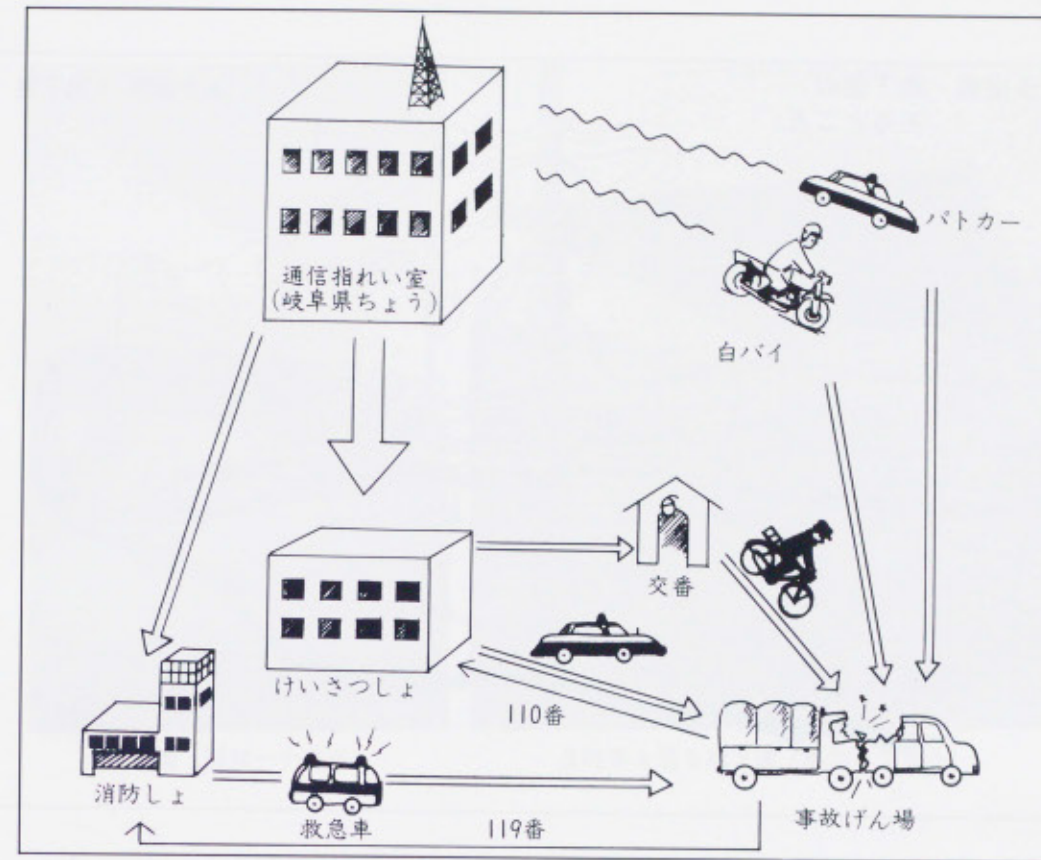


通信指れい室(警察本部)

- 交通事故がおこったら、どんな人が来るでしょう。

交通事故がおきたら 事故がおきるとすぐにパトロールカーや救急車がやってきます。どうしてすばやくやってこれるのでしょうか。

交通事故を起こした人は、けがをした人がいる時は、119番で消防しょへ連絡します。すると救急車が現場へむかいます。110番で警察にも連絡します。この電話は、岐阜県ちょうの中にある警察本部につながります。ここから事故の連絡を受けたパトロールカーはサイレ



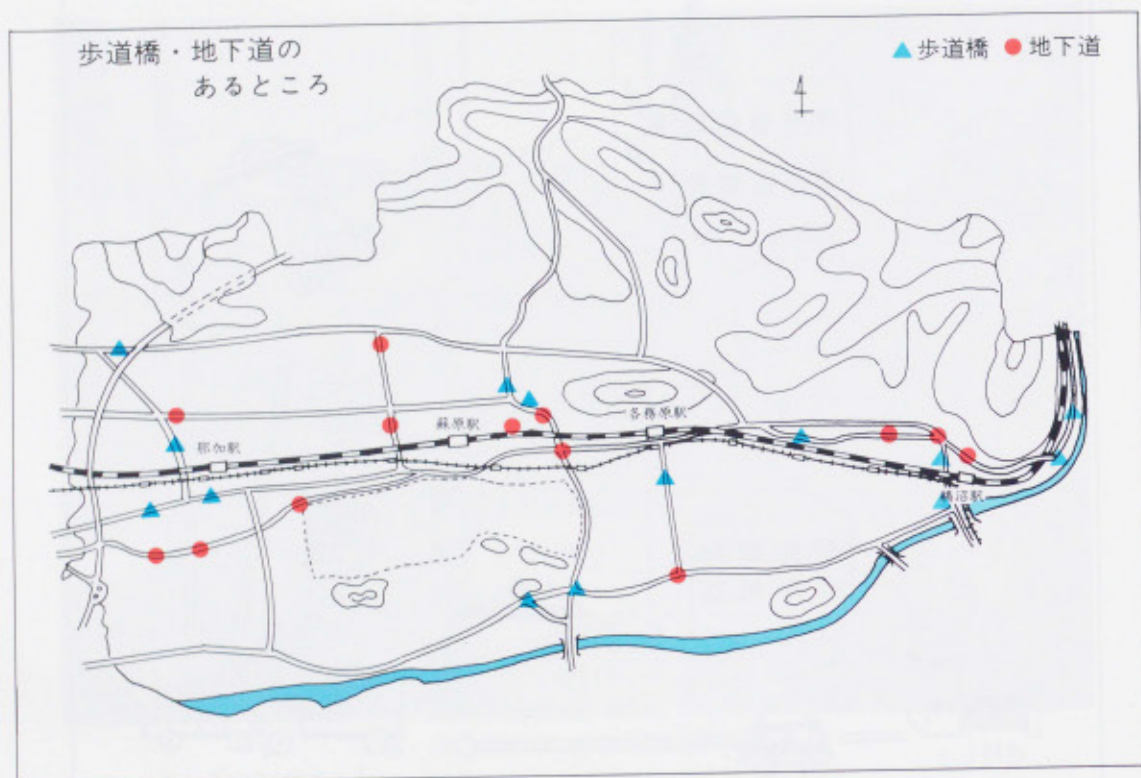
ンをならしてすばやく事故現場へむかいます。

警察かんは、けがをした人を車から出したり、道路の交通整理、事故の時の様子を車を運転していた人に聞いたり、ブレーキのあとの長さをはかったりと、てきぱきと活動します。

救急車からおりた救急たいの人は、けがをした人を救急車にのせ、病院にむかいます。

※ 各務原市や岐阜市など美の地方では、110番は、県ちょうの7かいにある通しん指れい室につながります。高山市などひだ地方では、各警察しょへつながります。





- 人が安心して歩けるような道路にするには、どのようにすればよいでしょう。

**安全な町作り** 町には車があふれ、歩いている人や、自転車に乗っている人が安全に道をわたれないことが多くなってきました。そこで、交通りょうの多い道には、歩道橋や、地下道が作られています。

各務原市内には、歩道橋が16か所・地下道が13か所作られています。また歩行者のための信ごうきがついている交差点もあります。鶉沼には各務原公園があり、そこでは正しい自転車の乗り方や歩き方を勉強することができます。



歩道橋（那加一小校区）

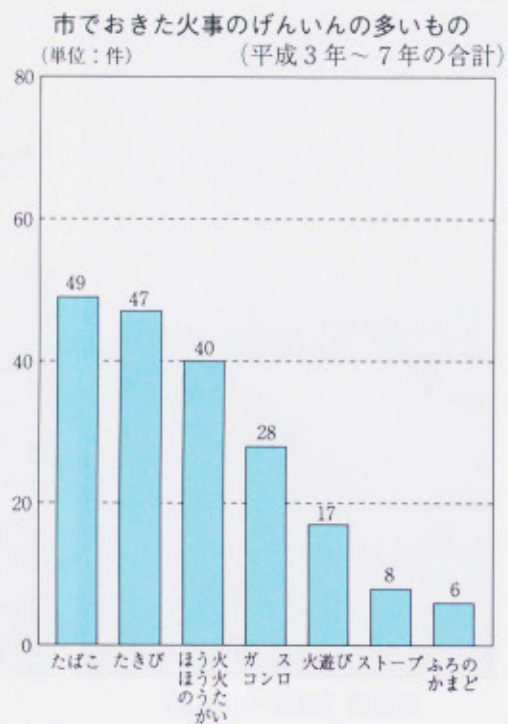
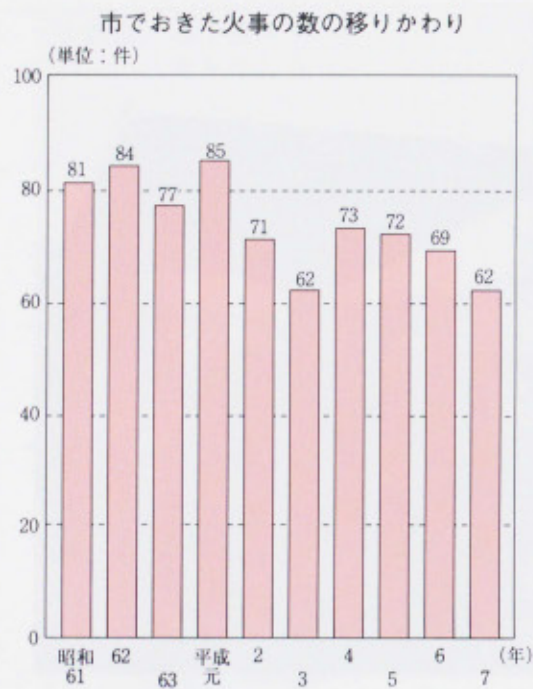


自転車も通る地下道（那加二小校区）



自転車などを使って交通の勉強ができる各務原公園（鶉沼）





## 2. 火事を ふせ 防ぐ

**市でおきた火事** 各務原市での火事の数  
を10年間を調べると、毎年およそ60  
回から80回おきています。これは、5  
日間に1回の火事がおきていることにな  
ります。

火事のげんいんは、たき火やたばこの  
ふしまつなどが多いのですが、ほとんど  
が、ちょっとしたゆだんや不注意からお  
きています。

大切なものがもえてしまったり、けが  
や死者の出るおそろしい火事を防ぐため  
の工夫や努力について調べましょう。



ひなんくんれん

**学校の消防せつび** 「ひなんくんれん。  
ただいま、給食室が火事になりました。  
先生のさしずでひなんしてください」  
スピーカーから大きな声がしました。

学校は火事や地しんにそなえて、「ひ  
なんくんれん」をしたり、「防火せつび」  
をそなえています。

わたしたちが学校で安全なくらしので  
きるためのしせつを調べることにしまし  
た。

安全に早くひなんしたり、すばやく火  
を消すための工夫を見つけましょう。

- 学校の消火しせつや  
ひなんしせつを調べて、  
図にあらわしましょう。





消火器



消火ホース



消火せん

### 学校のまわりの

消防しせつ みんなで手わけして、学校のまわりの消防しせつを調べました。

- 学校のまわりには、どんなところに、どんな消防しせつがあるか調べてみましょう。

消火せんや消火ホース、消火器とそのひょうしきを、地図に記号でかき入れました。

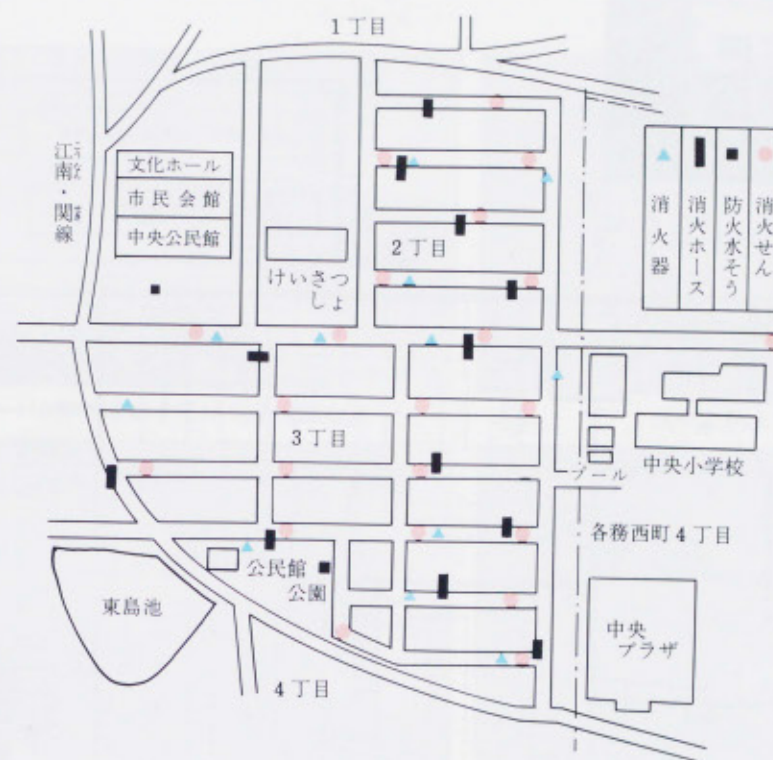
- グループを作って、わかれて調べ、それを一枚の地図にまとめてみましょう。

消火せんは、ひとつのところにかたよらないようはなしてつくってあります。

消火せんは、広い道路のこうさてんの



防火水そう



火事をふせぐしせつ  
中央町(平成八年)

近くにあり、消防車が水をとりやすく、通行のじゃまにならないところにあります。また、消火せんは太い水道管<sup>かん</sup>についているので、一度にたくさんの水を出すことができます。

防火水そうは、この中央町では公園の中と中央公民館のちゅう車場にあります。

消火器や消火ホースは、火事の小さな時に、近くの気づいた人がそれを使って火を消すように用意してあります。

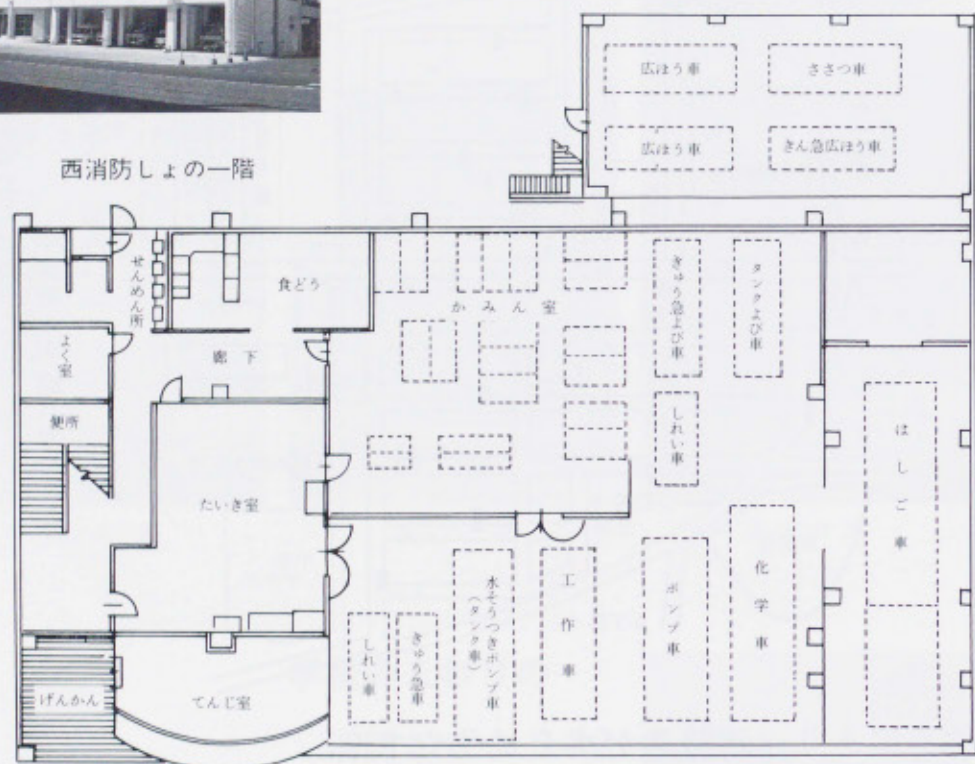
いろいろな種類<sup>しほりい</sup>の消防しせつが町のあちこちにつくられ、町を守っています。

※ 防火水そうとは、地下にコンクリートでタンクをつくり、水をためておくものです。火事の時にポンプ車でくみあげて使います。





西消防しょの一階



消防しょの見学 今までの学習をもとに、  
消防しょの見学ノートを作りました。

① 見てくること

- ・少しでもはやく火事の場所へ行くためにどんなしせつがあるか。
- ・そのために消防しょの人は、どんな工夫やどりよくをしているか。
- ・消防しょの人は、どんな仕事をいつどのようにしているか。

② 聞いてくること

- ・119番に火事の知らせが入ったら、どこへどのようにして知らせるか。
- ・消防しょの人は火事のない時は、どんな仕事をしているか。
- ・市内にある消防しょや消火しせつの位置はどのようにして決めるのか。
- ・まわりの市や町との協力や助けあいはどのようにしているか。



119番の電話を受ける通信指令室



すばやく防火服を着る



たいき室などからかけ足で



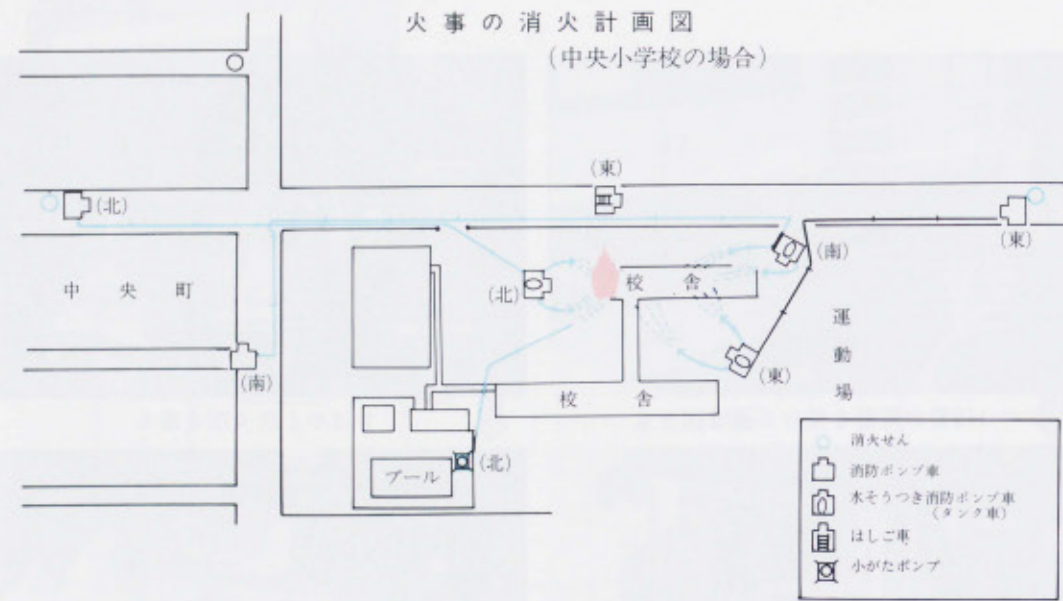
消防自動車によって出動

消防しょのようす 119番の電話は、  
通信司令室にかかります。指令室は、火  
事のおきた場所を各務原市内の全部の消  
防しょと出張所に無線電話でれんらくし  
ます。そして、火事の大きさを考えて、  
消火に出かける消防しょを決め、「出動  
の指令」を出します。

「出動の指令が出てから、消防自動車  
が消防しょを出発するのに1分間もかか  
りません」というお話を聞いて、そのは  
やさにおどろきました。

- はやく出動できる工夫を見つけましょう。
  - ・たてものようす
  - ・服そう
  - ・はきもの
  - ・消防自動車





### 早く消す工夫

出動の指令を受けた消防自動車は、サイレンをならし、赤い電とうをまわしながら火事の場所へ急ぎます。場所に着くと、すばやく消火活動をはじめます。

上の図は、中央小学校が火事になった場合に、どのように消火活動をするのかをあらわしたものです。

プールの水やどこの消火せんをどのように使うか。そのためには何本のホースがあるかということまで、一目で分かるようになっています。

このように、いざという時のためにふだんから消火計画を立てているのです。

- あなたの学校の消火計画図を教えてください。

消防しょの人たちのきんむのしかた

	1 日 め	2 日 め	3 日 め	4 日 め
消防しょ	8:30	8:30	8:30	8:30
第1隊	休み	きんむ	休み	きんむ
第2隊	きんむ	休み	きんむ	休み
本部	17:00	17:00	17:00	17:00
本部	休み	きんむ	休み	きんむ
本部	きんむ	休み	きんむ	休み



力をあわせてきゅうじょくんれんにはげむ



消火くんれん

火事にそなえて、<sup>しゃ</sup>車このとなりに「かみん室」があります。

「ここは、<sup>しょうぼうし</sup>消防士が夜休む部屋です。火事はいつおきるかわからないので、夜もつとめています。夜つとめるときは、この『かみん室』で服を着たままベッドで休みます。いつでもす早く出発できるようにしているのです。」とって、上の図を見せてくださいました。

火事のない昼まは、どんな仕事をしていらっしゃるのかたずねました。

- 消火やきゅう助のくんれんは、いつするのでしょうか。





防火をうたえるためパレードを行う



消火せんをしらべる



消火器などが使えるようになっているかを調べる



防火せつびが正しく使えるか点検をする

「人がたくさん集まる学校・公民館・スーパーや旅館、もえやすいものをあつかうガソリンスタンドなどで火事がおきるとたいへんです。そこで火さい報知器や消火器、非常口などのせつびが正しく使えるかどうかを調べます。そのほか道路の消火せんや防火水そうをけんさしたり、ポスターをはって火事をおこさないように呼びかける仕事などもしています。」と、火事のない時の消防しょの人の話からきを教えてくださいました。

- 消防しょの人たちは、火事をおこさないようにどんなことをしているでしょう。
- わたしたちは、火事をふせぐために、どんなことに気が付いたらよいか話し合いました。

消防しょと消防出張所（平成8年）



本部は、三重丸  
消防しょは二重丸

消防しょ 車・人数	西 (尾崎)	東 (みどり)	北 (北はら)	南 (尾崎)	尾崎 出張所	みどり 出張所	本部 (尾崎)	合計
ポンプ車	2	2	2	3	1	1	0	11
はしご車	1	1	0	0	0	0	0	2
化学車	1	1	0	0	0	0	0	2
工作車	1	1	0	0	0	0	0	1
指れい車	1	1	1	1	0	0	0	4
きゅうきゅう車	2	1	1	1	0	0	0	5
その他の車	2	3	2	2	2	2	6	19
合計	10	10	6	7	3	3	6	45
消防しょくいん	32	31	22	22	8	8	36	159

(平成8年)

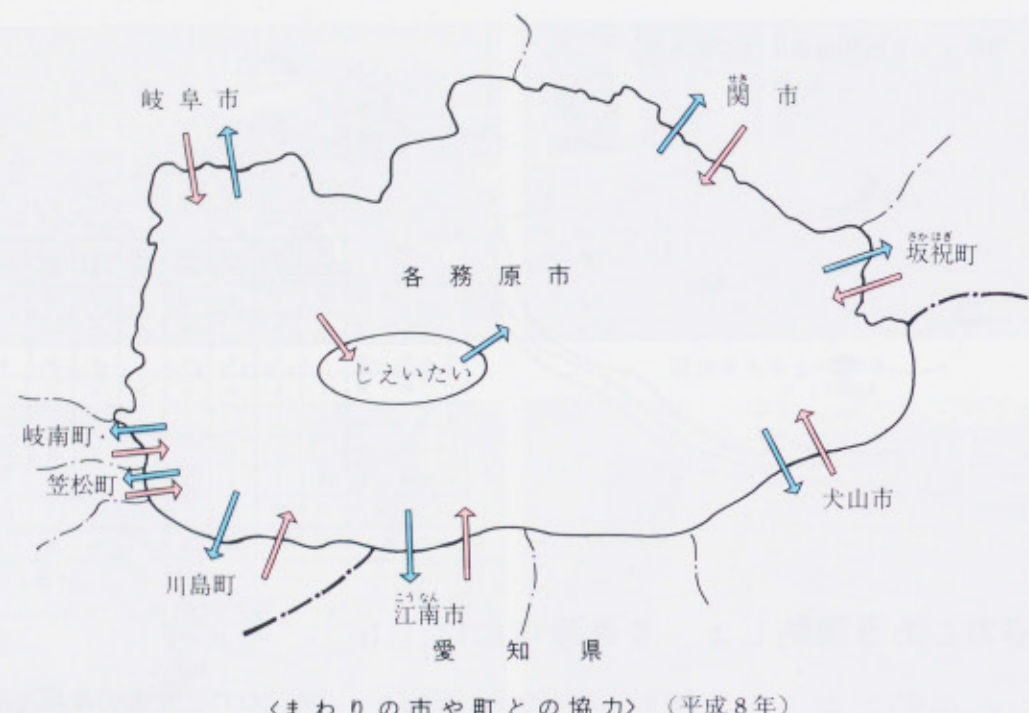
協力しあう消防しょ 各務原市には、1つの本部と4つの消防しょと2つの消防出張所があります。そして、市内のどこで火事がおきても、5分間あれば消防自動車がつくようにしてあります。

それぞれの消防しょは、受けもちの場所が決めてあります。しかし、火事の大さきや場所によっては、おうえんするようにしています。

また、消防しょは火事がおきるとすばやく水道部、けいさつしょ、電力会社やガス会社にれんらくして協力してもらうようにします。けが人があるときは、病院にもれんらくします。

- わたしたちの学校は、どこの消防しょで、何分間ぐらいでかけつけられるのか調べましょう。
- 消防しょは、なぜこんなにたくさんれんらくするのでしょうか。





**まわりの市や町との協力** きょうりやく 大きな火事がおきて、各務原市の消防自動車やきゅう急車ではまにあわない時は、まわりの岐阜市、関市や江南市などの消防しょにれんらくして、おうえんをしてもらうやくそくをしています。

また、それらの市で大きな火事がありおうえんのれんらくがあった時は、各務原市の消防自動車が出かけます。

けが人の多い交通事故や水害すいかいの時も、火事の時と同じように協力し合って、ひがいを少なくするようにしています。



町内の人たちに消火のしかたを教える



消防器具の手入れ



防火水そうのそうじ



消火くんれん

**消防団** だん 各務原市には、消防しょに協力して活動する「消防団」があります。

消防団の人たちは、ふだんは家や会社の仕事をしていますが、火事や水害の時には、消防しょの指令で防さい活動をしします。

消防団の人たちは、日曜日や休日、仕事が終わった夜などに、消火くんれんをします。また、それぞれの町内の消火せんや消火器などのてんけん、年まつの見まわり、ぼんおどりや祭りのけいびなど、みんなの安全を守る仕事もしています。

- わたしたちの校区の消防団の活動のようすを調べてみましょう。

- わたしたちが家やちいきや学校で、火事がおきないようにするにはどんなことができるか話し合い、まとめてみましょう。



### 三 地域の発展と人々の暮らし



水田の中を通る幹線水路（関市上白金）

写真は、「各務用水」です。広々とした水田の中を、まっすぐに通る水路に、たくさんの水が流れています。はばは、6メートルもあります。

この用水は、関市おせ小瀬の長良川から流れてきます。そして、20キロメートル以上もはなれた遠い水田まで、水を送っています。

各務用水を学習するにあたって、わた



は用水が隧道(トンネル)の中をとる

見学絵図

私たちの学級では、話し合いの中から、次のような問題がでました。

- ・用水は、どのように流れてくるのか。
- ・いつごろつくられたのか。
- ・なんのために、だれがつくったのか。
- ・つくるのに、どんな苦勞くろうがあったのか。

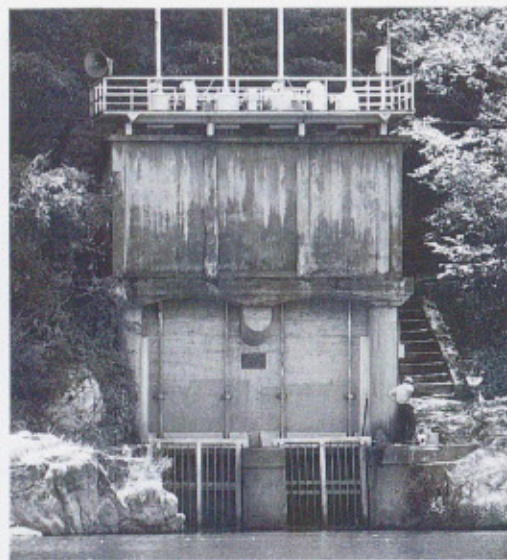
そこで、まず上の絵図の番号のじゅんじょで、水路のようすを見学することにしました。

※ 幹線水路、各市所有水路

用水路には、はば6メートルの大きなものから、はば10センチぐらいの小さいものまであります。幹線水路とは、用水路の中の大きくて、大切な用水路のことです。

- 見学するにあたってどんなところをしっかりと見たらよいかを話し合いましょう。





① 長良川の取水口



② 掘り下げられた低いところを通る水路(小瀬)

## 1. 各務用水の見学

- 用水の取り入れ口はどのようなところにあるか、どのようになっているのでしょうか。

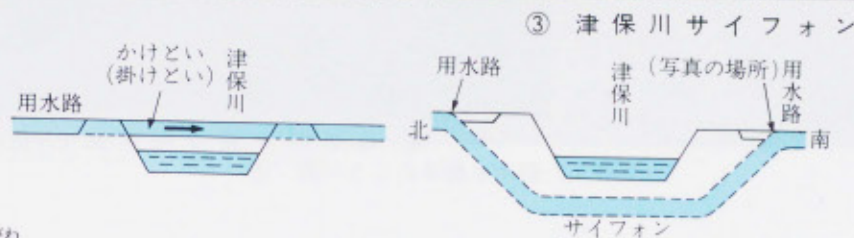
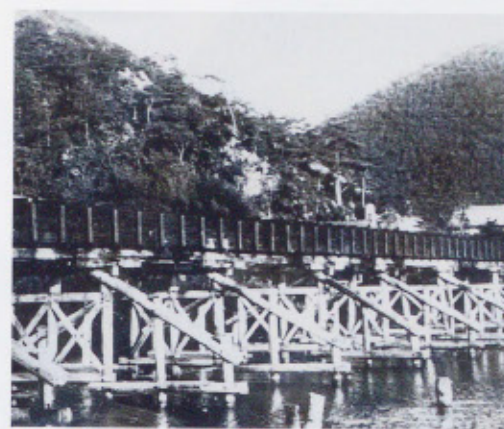
**取り入れ口** 最初に見学したところは長良川にある取り入れ口です。

そこは、川ぞいが岩で、水をまんまんとたたえ、とても深くなっています。長良川のきれいな水が、音をたてて、速いスピードで、取り入れ口にすいこまれていきます。

取り入れ口には、大きな鉄のとびらがあります。こう水のとびらをモーターで動かしてしめます。

水は、取り入れ口から、すぐに長いトンネルに入ります。そして、深く掘り下げられた低いところを流れていきます。

- トンネルがどこにあるか、地図でたしかめましょう。



**津保川サイフォン** 用水は、津保川にさ

しかかります。

すると用水は、川の手まえて、いったん地下にもぐります。そして、川底を通り、むこう岸へ、写真のようにいきおいよくふき出てきます。

このようなしくみをサイフォンといいます。これは、1974年に作られました。サイフォンになる前は、左の写真のように、大きな橋のような「とい」で、用水をわたしていました。

この「とい」は、大雨で何度も流されて、たいへんきけんでした。

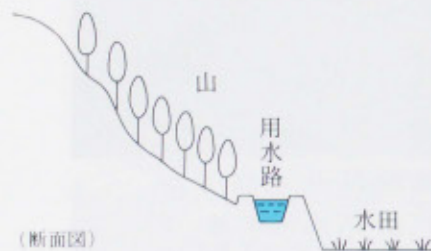
※ サイフォン

地上の水路を流れていた水が、川の底や道路の下を通って、もう一度、少し低い地面に出てくるしくみのことです。津保川サイフォンは、長さ145.5メートルもあります。

1974年=昭和49年

- 津保川をこす用水路のちがいを、今と昔でくらべてみましょう。





④ 山ぎわを通る用水路 (芥見)

- 用水が、山ぎわの高いところを通っているのはなぜでしょう。

**山ぎわを通る水路** 津保川をわたった用水は、山ぎわの高いところを通ります。

このあたりでは、水路をできるだけ高いところに通すくふうがされています。大切な田や畑に水がいくように高い所を通したのでしょう。そのために、水路は山にそって、なんどもカーブしながら田畑の上を通っています。

- 山ぎわの高いところを通すためには、どんな苦労があったのでしょうか。

また、土地の低いところでは、たくさんの土をもりあげ、土地を高くして、その上に水路が作ってあります。低いところを高くするための土は、山ぎわをけずった時に出た土や石を利用しました。



⑤ 高いところを通る水路 (上芥見)

上の写真で、水路の高さと、家の屋根の高さをくらべると、水路がどれほど高いところを通っているのか、よくわかります。

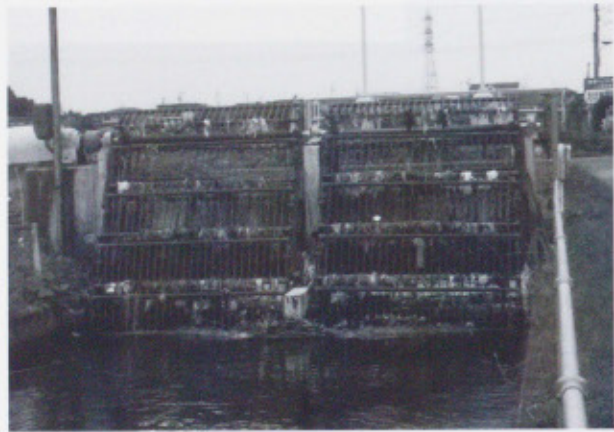
現在の水路は、<sup>うちがわ</sup>内側がコンクリートでつくられていますが、むかしはこんなに大きな水路でも、丸石をつみかさね、土などでかためてつくられていました。

そのため、雨がふり続いたときや、台風・大雨・地しんのときには、たびたびこわれました。そのたびに、農家の人々をたいへん苦しめました。

- 高いところを通る水路には、どんな問題があったのでしょうか。

- 今のような用水路ができるまでに、どんな苦労があったのか、P 175の年表で確かめてみましょう。





⑥ ごみ取り機とフェンス



⑦ 水門（芥見）⇒

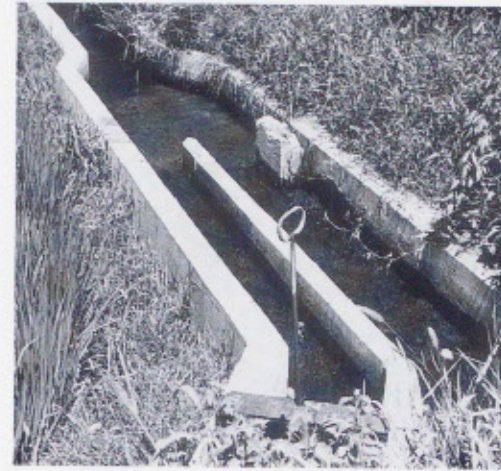
- 水をうまく流すために、どことなくふうがしてあるのでしょうか。

いろいろなせつび 長良川から取り入れた水を、20キロメートル以上もはなれた遠い水田まで、できるだけたくさん送るために、水路のと中に、いろいろなせつびがあります。

サイフォンも、津保川のほかに、大きいのが、3ヶ所あります。

また、きめられた時間になると動くごみ取り機や、そのごみを集める場所があります。

そのほかに、広い地いきの水田に、水を公平に分けるための分水路や、流れる量をちょうせつするための水門が、いくつ



⑧ 分水のようす



田のそばのせまい水路

もあります。

さらに、水路にそった道には、人や自転車などが落ちこむのをふせぐためのフェンスやガードレールなどが作られています。

このせつびは、土地改良区<sup>かいりょう</sup>や農家の人々によって、かんりされています。

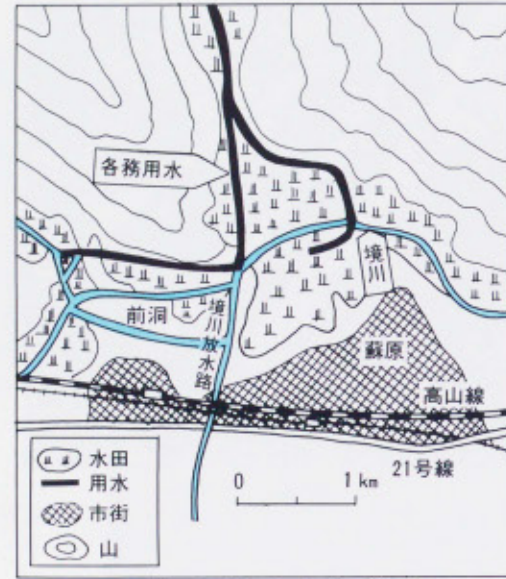
わたしたちは、水路を見学して、そのくふうや、しせつのはたらきについて、知ることができました。そして、新たにどうしてこんなにも大きな用水路をつくらなければならなかったのか、調べてみたくなりました。

◇ 見学して、わかったことをノートに整理してみましょう。





用水ができる前



用水ができた後

## 2. 用水をつかって水を引く

- 各務用水がつくられる前は、どんなところに水田があったのでしょうか。
- 用水ができる前と後の水田の広がりくらべてみましょう。

### 水がほしい農民

百年ほど前の各務原市内の人々のおもな仕事は、ほとんどが農業<sup>のうぎょう</sup>でした。農家の人々は、田や畑にいろいろな作物をつくっていましたが、米をたくさんしゅうかくすることが一番のねがいでした。

しかし、米づくりにひつような水を手に入れるには、たいへんな苦ろうをしなければなりません。

上の地形図からもわかるように、米が取れるのは、川にそった低い土地や、谷川から水がひける山にそった土地だけでした。



※ 田うえの時に水がないため、ぼうであなをあけ、はこんできた水をそそぎ、そのあになえを植えて、なえがかれるのをふせいだ。

このような水田でも、雨だけをたよりにするので、日でりが長く続くと水不足になりました。そのため、米のとれる量がうんと少なくなったり、時には、いねがかれて、米が少しもとれなくなったりした年もありました。

1883年は、とくにきびしい日でりが続き、田植えの時には、川のたまり水をおけて運んで田に入れたり、やかんを使って入れたりしました。

また、雨がふるようにと、「雨ごいおどり」をして、神様においのりもしました。こんな苦ろうのため、日でりが長く続くと、つかれて病気になったり、死んだりする人もあったほどでした。

- 各務用水ができる前は、農家の人々は、どのような苦ろうをしたのでしょうか。

1883年＝明治16年

※ おけ  
木でできた、今のバケツのようなもの。

※ 雨ごい  
火のついたたいまつを持って、夜、山にのぼったり、おどったりして、雨がふるように神様においのりすること。



ため池のきまり  
 かぎりある谷水だ。みだりに畑を田にしたり、新しく田を開いたりすると、米を作る水が不足するのは明らかだから、次のようなやくそくをする。

○新しく通常田を開く者は、一反(約十アール)につき、五円以上、五十円以下のはんいてお金を出すこと。

○三日田は、毎年夏至より二十日までの間に引き続き、三日間以上雨が降らない時は、田に水を入れてはいけない。

○日でりが続いて水が不足してきたら、新しく開いた田は、水を入れることをえんりよすること。(昔からの村のきまり)

### 境川とため池

各務原市の北の方には、境川が北東の山地を水源として、西に向かって流れています。しかし、この川へ雨水が流れこむ地いきがせまいため、上流の田で水を取ってしまうと、下流の地いきでは、境川の水はなくなってしまいます。

また、川の水の使えないところでは、山すそに大小のため池を数多くつくりました。そのため池へ、雨がたくさんふる時に水をためておいて、水のいる田植えの時に、使うようにしていました。

しかし、このため池の水も、日でりが長く続くと、なくなってしまいます。

※ ため池

須衛の奥山三池、大安寺池、葎ヶ瀬池などが、大きなため池です。

このほかにも、小さなため池が多くあります。



横山忠三郎



横山忠三郎の記念ひ(蘇原浄念寺)

### 用水路をつくる計画

上の写真は、各務用水をつくるのに努力した横山忠三郎です。忠三郎は、現在の蘇原大島町に住み、戸長(村長)をしていました。(1872年ころ)

村の農民が、毎年、水不足に苦しんでいるのを見て、忠三郎は、「広い地域の人々が協力して、大きな用水路を作ることが必要である」と考えました。

忠三郎たちは、苦心して作った用水路の計画書を持って、村々をまわり、かんけいする人たちに、さん成してもらうよう、くわしく説明しました。

## 3. 用水路をつくる

1872年=明治5年

※ 忠三郎といっしょに用水路づくりを進めた人たち

- ・山県郡の岡田只治
- ・武儀郡の後藤小平次



明治年月	一三・三 一六 一八 一八 一九 二〇・四 二〇 二二 二二 二二 二二 二二 二二・六 二二・七 二二・八 二二・二 二二・七 二二・七 二二・七 二二・七 二二・七
各務用水年表	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 忠三郎、工事に金の支払いをせまられる。かんたく者やめる。</li> <li>* はじめて水を通してこわれる。</li> <li>* 用水の石垣こわされる。</li> <li>* 掛けといの問題がおきる。</li> <li>* 大雨のためこわれる。</li> <li>* 芥見村で忠三郎がおそわれる。</li> <li>* 芥見工事反対を大臣に願ひ出る。</li> <li>* 忠三郎は一八〇円出す。</li> <li>* 工事費の立てかえ千円出す。(十二人) 忠三郎、用水委員になる。</li> <li>〃 完成。</li> <li>上白金村の工事始まる。</li> <li>むりやり費用をとりたてる。</li> <li>計画通りにやることにする。</li> <li>* 芥見の他、三村が反対する。</li> <li>費用を下げることに決まる。</li> <li>費用の分け方に不満があつて決まらない。</li> <li>* 一週間かかって相談し予算を立てるが、用水を作る測量をする。</li> <li>百人以上が賛成する。</li> <li>* 岡田、横山、計画書を作る。</li> <li>* 昼夜相談するが、まとまらない。</li> <li>忠三郎、用水発起人になる。</li> <li>日でのため、大そん害。</li> <li>* 用水計画を県へ願ひ出る。</li> </ul>
何年前	今から 百十六年  百十年

### 反対運動

- 用水路づくりは、計画どおり進んだのでしようか。
- 反対する人たちはなかったのか、年表で調べましょう。
- なぜ、反対する人たちが出てきたのでしょうか。

はじめのころは、反対する人は少なかったのですが、用水路のこまかいきまりをつくる相談<sup>そうだん</sup>をはじめたころから、ふまんを持つ人が多くなり、反対が強くなって、計画が進まなくなりました。

反対する人たちは、計画をやめさせようと、県や裁判所<sup>さいばんしょ</sup>や国へうったえました。反対のえんぜつ会を開いたり、そくりよのじゃまもしたりしました。

また、横山忠三郎や岡田只治が通ると

昭和	二二・八 二二・八 二四・四 二四・八 二四・一〇 二四・一〇 二五・一〇 二五・一〇 二六・七 二六・七 二七 二七 二六・八 二六・八 二九・七 三〇 三一 三二 三二 三三 三三 三四 三七 四〇	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成式が行われる。</li> <li>記念碑がでる。</li> <li>八の字型せきがでる。</li> <li>* 用水が丈夫になるようにいろいろ工夫する。</li> <li>* 千疋とせきについて話し合う。</li> <li>* なおした津保川掛けといがまた流される。</li> <li>* 大洪水で津保川大掛けといが流される。</li> <li>忠三郎、通水委員になる。米がよくとれた。日でりが続く。</li> <li>忠三郎、用水委員をやめる。</li> <li>* 大ごう雨で用水路こわれる。</li> <li>らなかつた。</li> <li>日でのため夜中も水番をしたが、米は実なおす工事が終わる。</li> <li>なおす工事が始まる。</li> <li>* 取り入れ口に問題がおきる。</li> <li>* 知事になおす工事願ひ出る。</li> <li>* 濃尾地しん起る。水路こわれる。</li> <li>* 加納輪中が、反対する。</li> <li>用水全部でき上がり、ほしい時に水がくる。</li> <li>芥見村の反対が解決する。</li> <li>こわれた所がでる。</li> <li>こわれた所をなおし始める。</li> </ul>	五〇年 四九年 四七年 四四年 昭和二六年	幹線水路の大しゅうりが終わる。 津保川サイフォン完成。 山田川サイフォン完成。 幹線水路の大しゅうり始まる。 取り入れ口を関市小瀬にうつす。	二一年 二二年 二四年 二七年 四五年
----	--	--	-----------------------------------	--	---------------------------------

悪口を言ったり、その子どもの通学のじゃまをしたりしました。

そのころの人々は、せまい土地をたがやし、農業だけをしていました。家ぞくが食べていくのがせいっぱいで、お金をはらうことは、たいへんなことでした。

また、工事のやり方が進んでいないころでしたから、お金を出し、田や畑をつぶして用水路をつくっても、本当に自分たちの田や畑に水<sup>しんよう</sup>がくるのか、信用できなかったのです。

※ そのころできた悪口のうた

岡田ぎつねに  
だまされて  
水はコンコン  
人はわいわい

- 横山忠三郎たちは、用水路づくりを進めるために、どのようなことをしたか、年表で調べてみましょう。

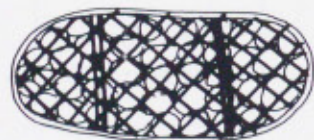




むかしの工事の様子

- 工事は、どのようにおこなわれたのでしょうか。(上の絵から考えましょう)

※ ジャかご



竹であんだかこの中に石などを入れて、つつみを強くするために使われた。

### 工事の苦心

はげしかった反対運動も、忠三郎たちの努力で、やがて少なくなり、用水路をつくる工事ははじまりました。

しかし、今のような、トラック・クレーン・ブルドーザーなどの機械やセメントなどの材料がないころでしたから、工事には、たいへんな苦勞がありました。

それに、今までにやったことのない大工事です。しっばいやまちがいもたくさんありました。

### 芥見八番地をなおす

明治23年 8月		現 在
石	約900 t (くさみで45,000回)	8 t車で 120台
赤土	約47 m <sup>3</sup> (くさみで2,750回)	〃 7台
松の木	41本	
竹	32本	
なわ	約8 kg	
人数	約2,000人	30人
日数	13日	2日

1890年に、苦心してつくった用水路にはじめて水を流しました。ところが、前の夜からふった雨のため、水をすって弱くなっていたつつみが、こわれてしまったのです。そのつつみを直した時の様子が上の表です。

用水は、1891年に完成かんせいしましたが、その年から、大雨や大地しんが起り、用水路がこわれることが、たび重なりました。

最初の計画どおりに水が流れたのは、こわれた所を直す工事をはじめてから、11年あとの1901年でした。用水路づくりを言い出してから、21年間もかかったのです。

- 使った材料や働いた人数を、今の工事のやり方とくらべてみましょう。

※ くさみ

竹であんだ入れ物で、土や石などを運ぶために使う。

1890年=明治23年

- 用水路が完成するまでに、どのような苦勞があったのでしょうか。

1891年=明治24年

※ 濃尾地しん

明治24年に、岐阜県を中心としておきた大地しん。このため、用水路のほとんどがこわれてしまいました。

1901年=明治34年



## 4. 用水路 ができて

- 用水路は、米づくりに、どのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。

各務用水土地改良組合費金期分

領収証書	
第 [ ] 号	平成8年度
納人 [ ]	納金 [ ]
各務用水土地改良区組合費	全期分
金 [ ]	賦課面積 [ ]
上記金額領収しました	
平成 年 月 日	収納済
取立金額 [ ]	8,430
岐阜市 農業協同会	
十六銀行各支店	
十六銀行町出換所	
大垣共立銀行各支店	

用水路にゴミを棄てないように監視しましょう。

- 各務用水づくりの苦労の様子を、紙しばいやげきに見せましょう。

各務用水の完成式には、すもう大会をしたり、花火を打ち上げたりして、たくさんの人で、よろこび合いました。



用水完成の記念ひ（芥見）

用水路ができたことによって、日でもりが続いても、水不足の心配をしなくてもよくなりました。

完成式後も、少しでもたくさんのお水をみんなの水田に行きわたらせようとする工事がおこなわれました。取り入れ口をかえたり、つつみの水もれを少なくしたりするなどの工事もおこなわれ、用水が引ける水田の面積が広がりました。

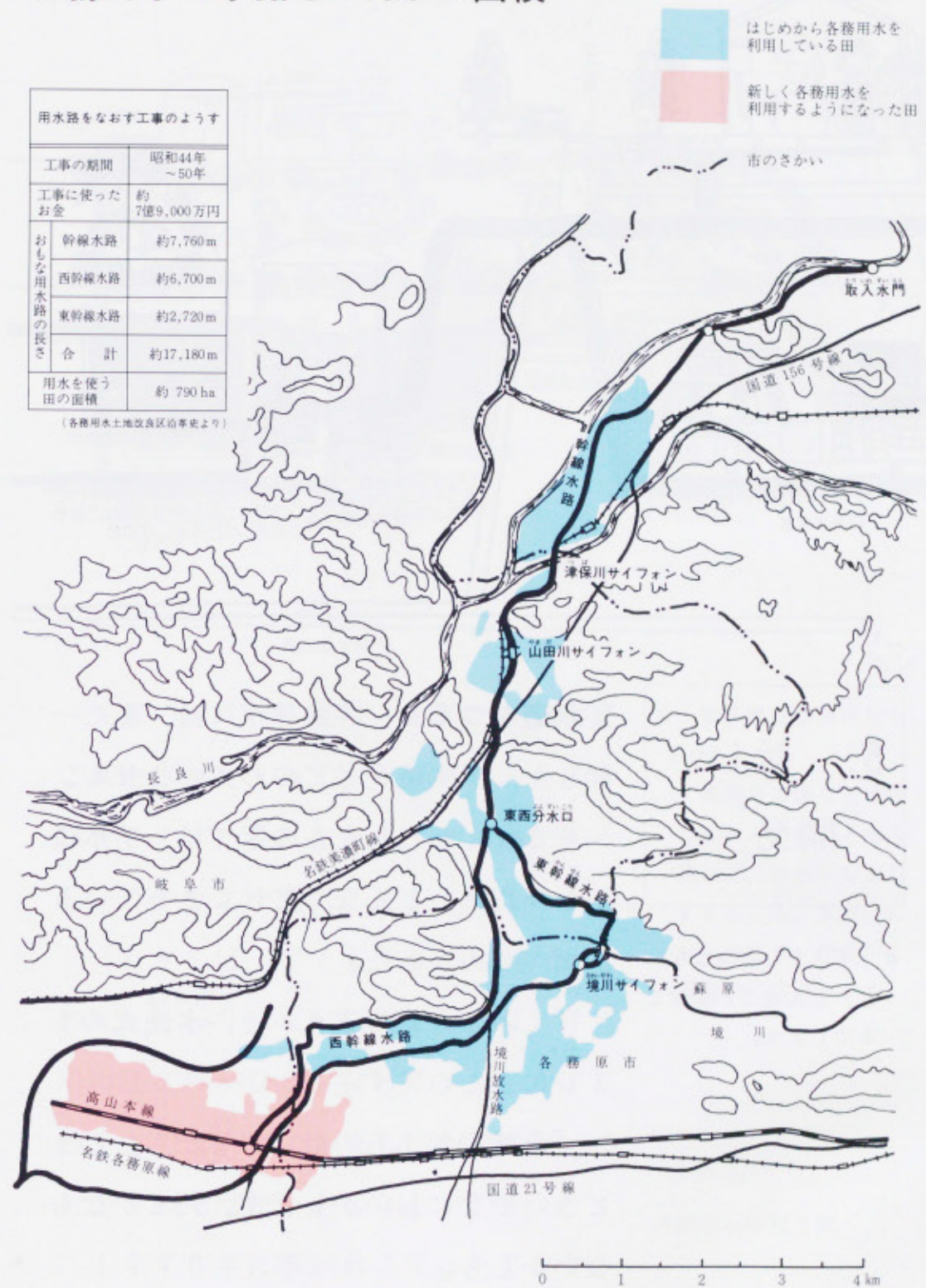
今も、この用水を使う人たちは、お金を出し合って、用水路を守っています。

わたしたちも、この用水路のはたらきを知り、用水路にいつも美しい水が流れるように、協力することが大切です。

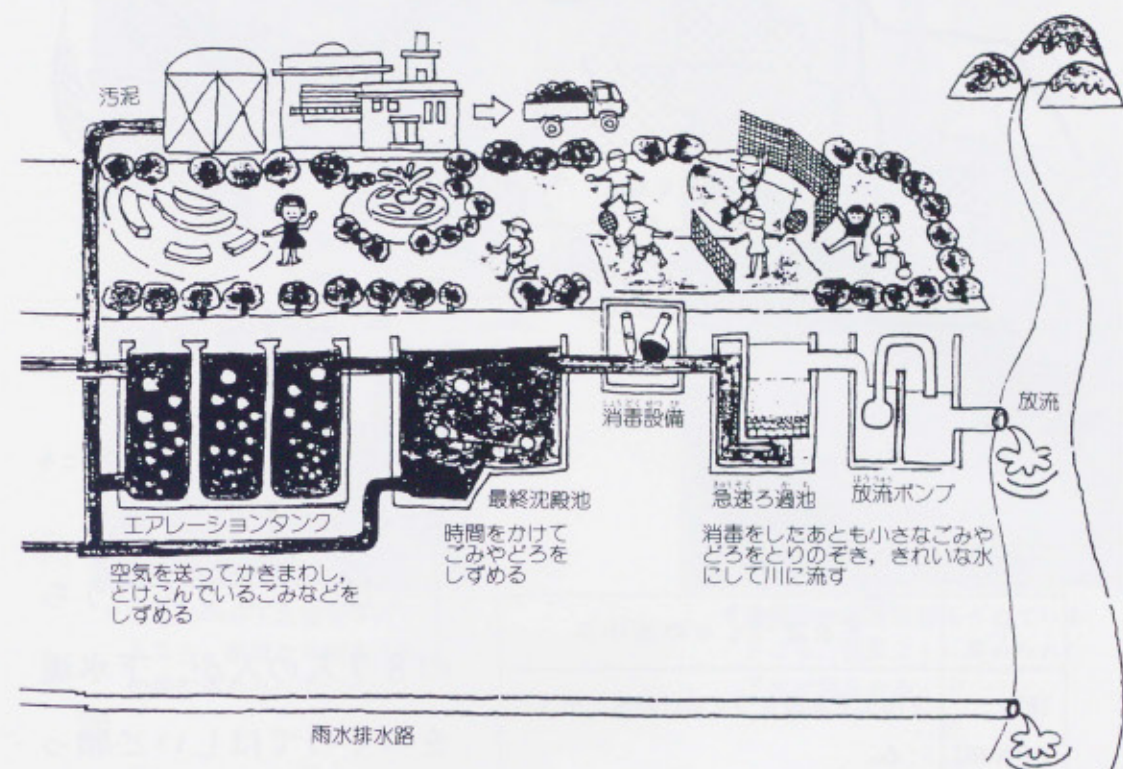
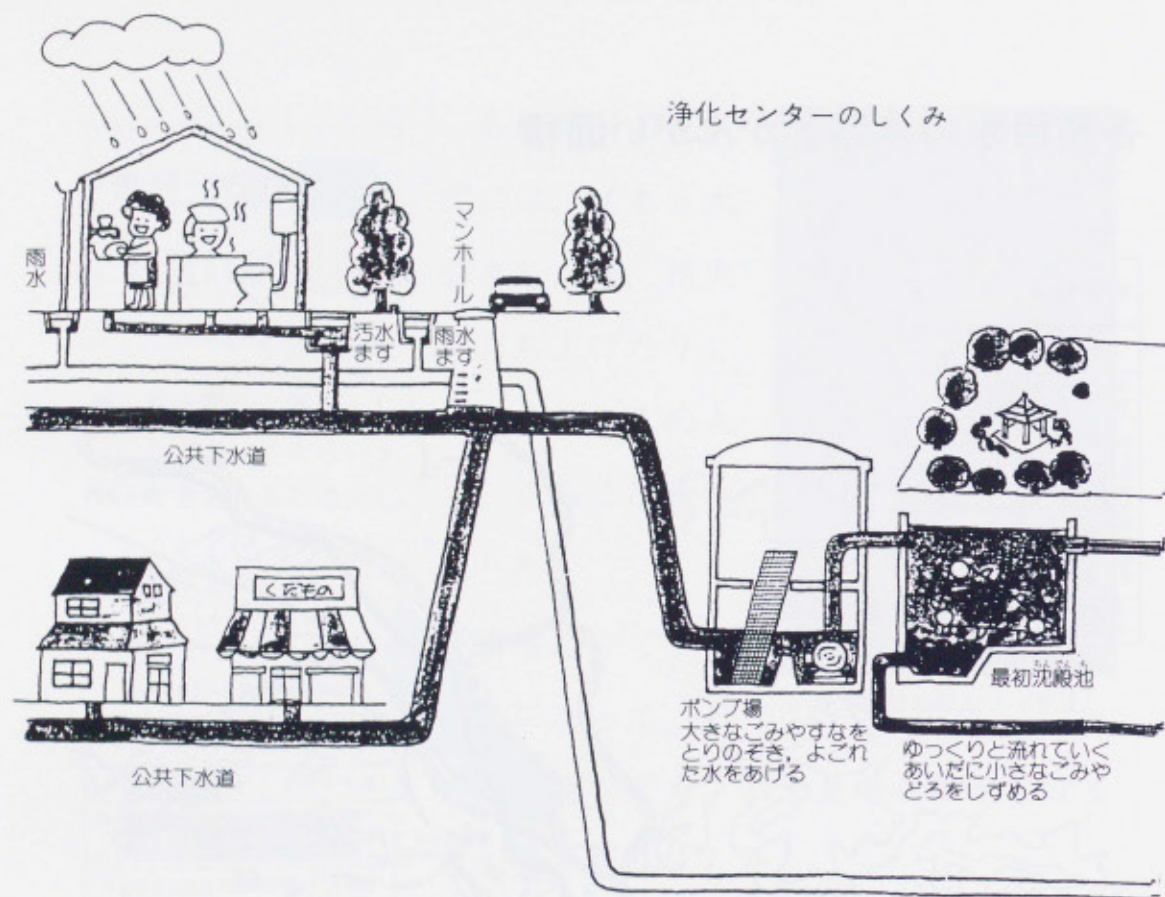
## 各務用水の水路とかんがい面積

工事の期間	昭和44年～50年	
工事に使ったお金	約7億9,000万円	
おこなった用水路の長さ	幹線水路	約7,760m
	西幹線水路	約6,700m
	東幹線水路	約2,720m
	合計	約17,180m
用水を使う田の面積	約790ha	

(各務用水土地改良区沿革より)







## 5. 新しい 開発

下水道をつくる 各務原市には、まだ一部しか、下水道がととのっていません。

そこで、わたしたちの家では、下水道がないため、どんなことにまわっているか調べてみました。

「くみとり式のトイレを、水洗式すいせんのトイレにしたいです」

「台所やお風呂のはい水管かんから、ときどきいやなにおいがします。何とかならないかしら」

- 下水をしまつしないと、どんなことがおこるでしょう。

「家の近くの水路は、台所から出るよごれた水がたまって、ドブ川のようになっています。夏になると、においがするし、カヤハエが発生してまわっています」

「むかしは、とてもきれいな川だったのに、まわりに家がふえてからは、年々川のよごれがひどくなってきました。このままでは、今にも魚も住めなくなってしまうのではないかしら」

1990年に市がおこなったアンケート

※ 岐阜県各務原浄化センター

家庭や工場などで使われたよごれた下水を集めて、きれいな水にするところ。きれいになった水は、木曾川と長良川に流されます。

1990年=平成2年



下水道を作る計画



// 現在工事をしているところ  
 ⊞ すでに工事の計画がたっているところ  
 . . . 下水道を作る予定のところ  
 — 下水道幹線

年	下水道づくりのあゆみ
1971 (昭和46)	・市で下水道をつくる計画案が出される。
1973 (昭和48)	・県で木曾川ぞいに下水しょり場をつくる計画案が出される。
1982 (昭和57)	・市の下水道工事をすすめる。
1986 (昭和61)	・蘇原・那加地区で工事が進む。
1989 (平成元)	・稲羽地区で工事はじまる。
1991 (平成3)	・鶯沼地区で工事はじまる。
2000 (平成12)	・市の一部で下水道の使用ができる。 ・市の全域(4030ヘクタール)に下水道を広げる予定。

トでは、100人のうちの87人の人が、下水道をつくってほしいと願っていることがわかりました。

わたしたちのこんな願いや、こまっていることを解決するのが、下水道です。

木曾川ぞいに岐阜県各務原浄化センターができ、市でも下水道をつくる工事を進めています。

進められている下水道工事



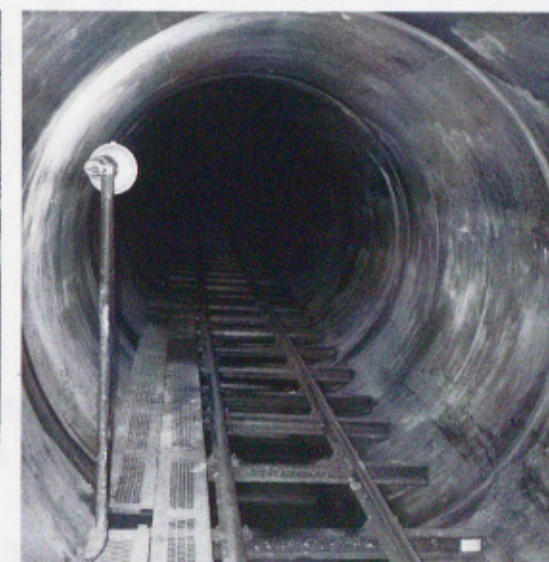
↑直径25cmの下水管をうめているところ。家庭から出る下水はこの管に集められていく。



↑直径90cmの下水管をうめているところ、地区ごとに集められた下水が流される。



↑岐阜県各務原浄化センター  
この浄化センターには、四つの市と九つの町から下水が集められます。ここでは、下水がいくつもの池や消どくせつびを通ることによって、しだいにきれいな水にかえられていきます。



↑直径2.6mの下水管  
下水は、この下水管を通して処理場に向かう。



## ふるさとの本は友だち

この本は、みなさんを育ててくれる「かかみがはら」の仕事やうつりかわりを、みなさんへの資料として先生方が工夫をこらして作ってくださったものです。

知らない間に、木曾川のにおいを感じ、飛行機の音を知り、にんじんのはっぱをおぼえたように、ふるさはみなさんをつつみこんでいるのです。ですから、この本で、つつみこまれた「ふるさと」のなかみや、そこに生きる人々の心とはたらきなどを大切にしながら学習し、本と友だちになってくださることを願っています。

平成10年3月

各務原市教育長 浅野 弘 光

### 平成4年度改訂委員 (順不同)

安江 洋一	立川 清水	左高 英夫	白木 征雄
浅野 邦彦	伊藤 正史	浅野 義英	丹羽 弘
伊藤 美智夫	笹本 博司	高橋 佐千夫	奥村 正彦
宮脇 和典	伏屋 敏彦	篠田 照夫	

### 平成10年度版改訂委員 (順不同)

平嶋 賢了	緑苑小学校長	奥村 正彦	中央小学校教頭
小川 滋子	那加第一小学校	堀 真	那加第一小学校
宮脇 和典	那加第二小学校	五藤 裕美	尾崎小学校
高橋 佐千夫	鶯沼第一小学校	村瀬 宏	鶯沼第一小学校
二ノ宮 茂樹	鶯沼第三小学校	弓狩 一芳	八木山小学校
兼松 直人	陵南小学校	仙石 輝幸	陵南小学校
坪井 伸次	蘇原第一小学校	小林 宏行	市教委学校教育課

表紙の字 水野定之前教育長

もくじの絵 小島正信先生

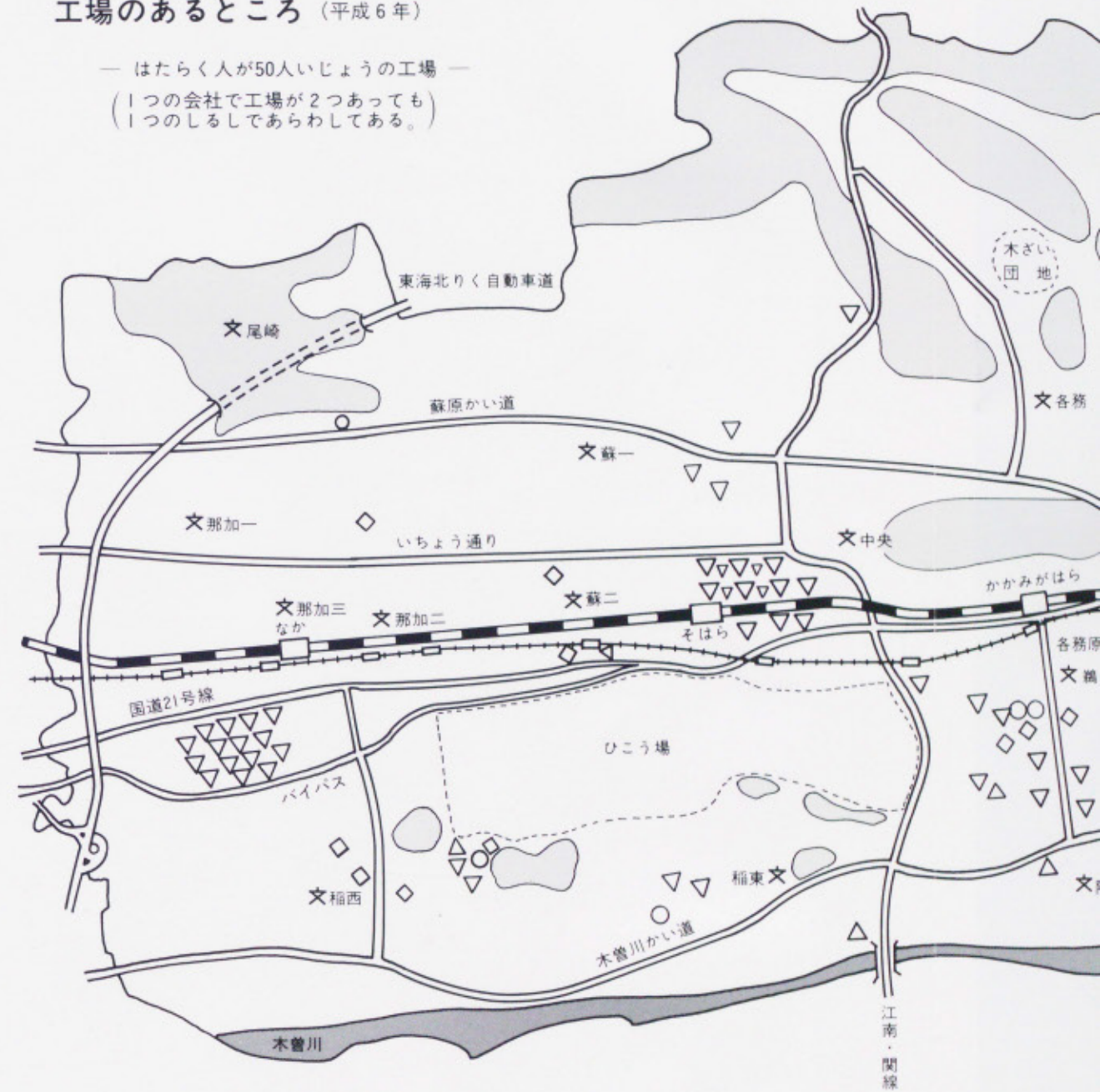
### 写真提供者

- ・ライフシャット
- ・市歴史民俗資料館
- ・市広報課
- ・郷土出版社(写真集思い出のアルバム各務原)

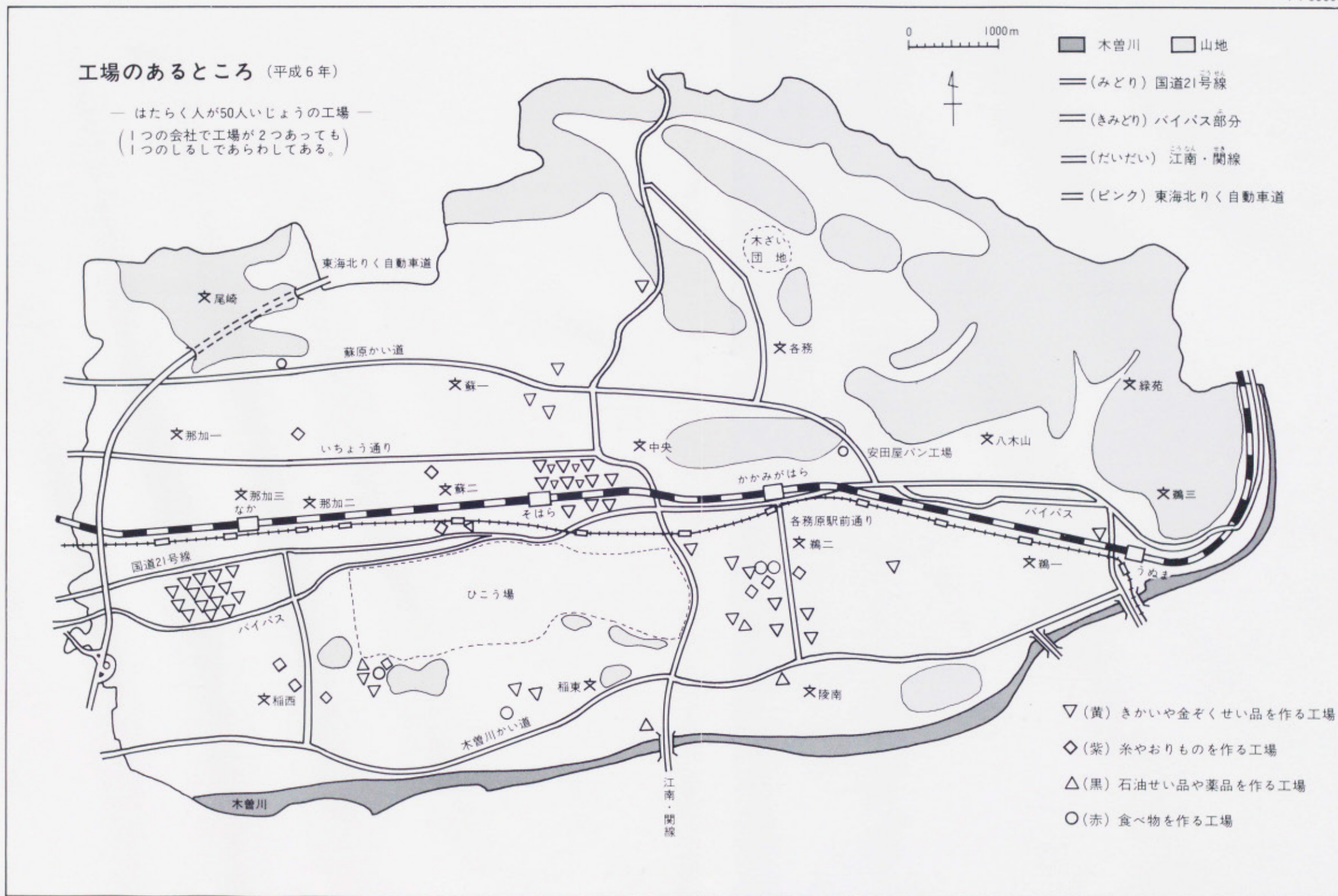
そのほか、多くの方々に協力していただきました。

## 工場のあるところ (平成6年)

— はたらく人が50人いじょうの工場 —  
(1つの会社で工場が2つあっても)  
(1つのしるしであらわしてある。)







ら」の仕事やう  
 二夫をこらして  
 音を知り、にん  
 んをつつみこん  
 た「ふるさと」  
 を大切にしながら  
 ています。

野 弘 光

白 木 征 雄  
 丹 羽 弘  
 奥 村 正 彦

中央小学校教頭  
 加第一小学校  
 尾崎小学校  
 沼第一小学校  
 八木山小学校  
 南小学校  
 教委学校教育課

のアルバム各務原)

年 組 名 前



THE  
LIBRARY OF THE  
MUSEUM OF  
COMPARATIVE ZOOLOGY  
AND ANATOMY  
HARVARD UNIVERSITY  
CAMBRIDGE, MASS.







各務原市の花「つつじ」

